

Ⅲ

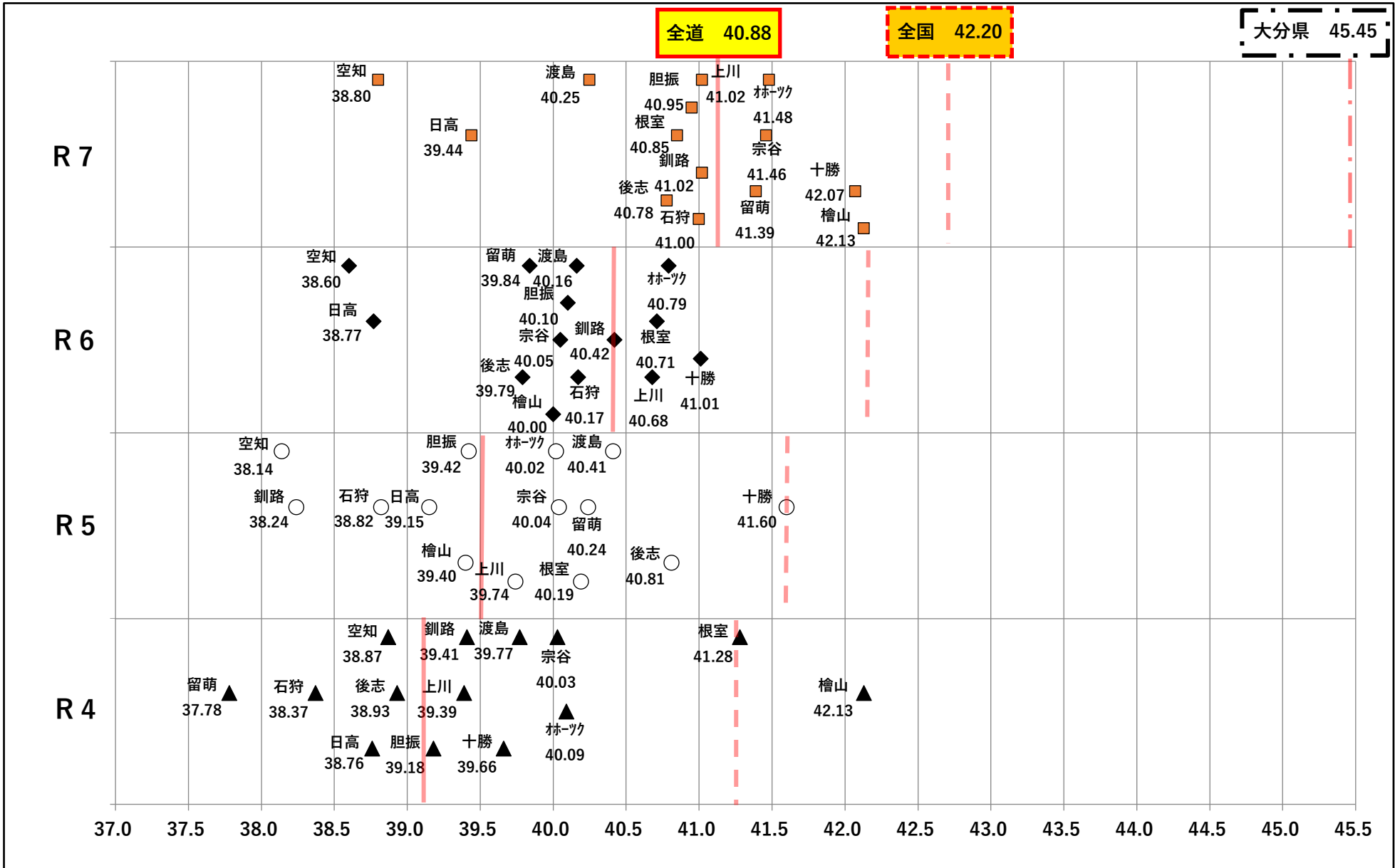
各管内の状況

- 1 管内の体力合計点の分布
- 2 管内の状況、分析及び体力向上策

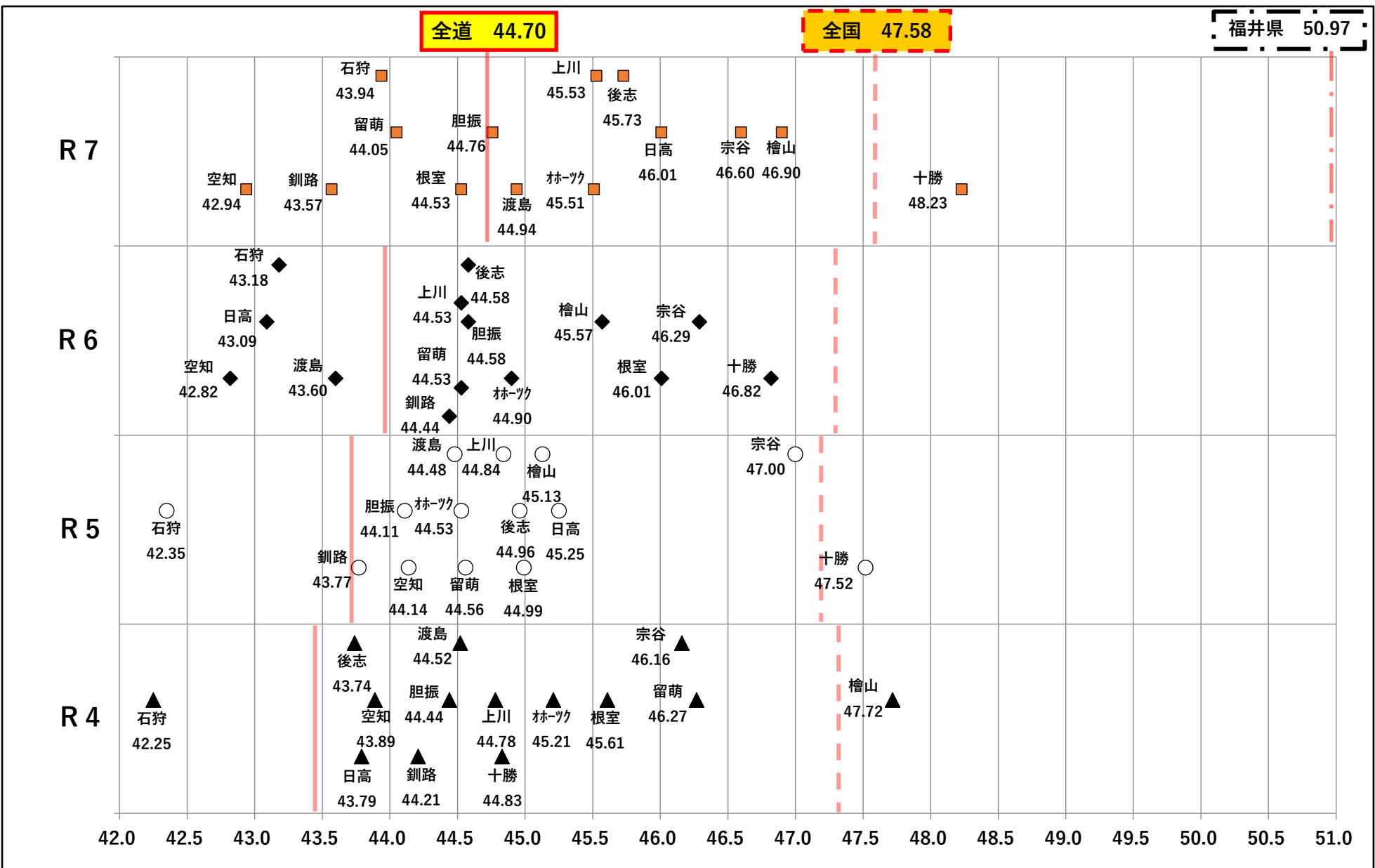


ここでは、令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査における管内の結果を分析し、「管内の体力合計点の分布」、「管内の状況、分析及び体力向上策」を掲載しています。各市町村教育委員会及び学校においては、各管内の状況や体力向上策を把握し、今後の取組を工夫改善するなど、各地域や学校における取組の更なる充実に向け、本資料を御活用ください。

(3) 中学校男子



(4) 中学校女子



※ [] は、都道府県の中で、体力合計点が最も高い県

空知管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校56校・児童数1,595名、中学校37校・生徒数1,578名

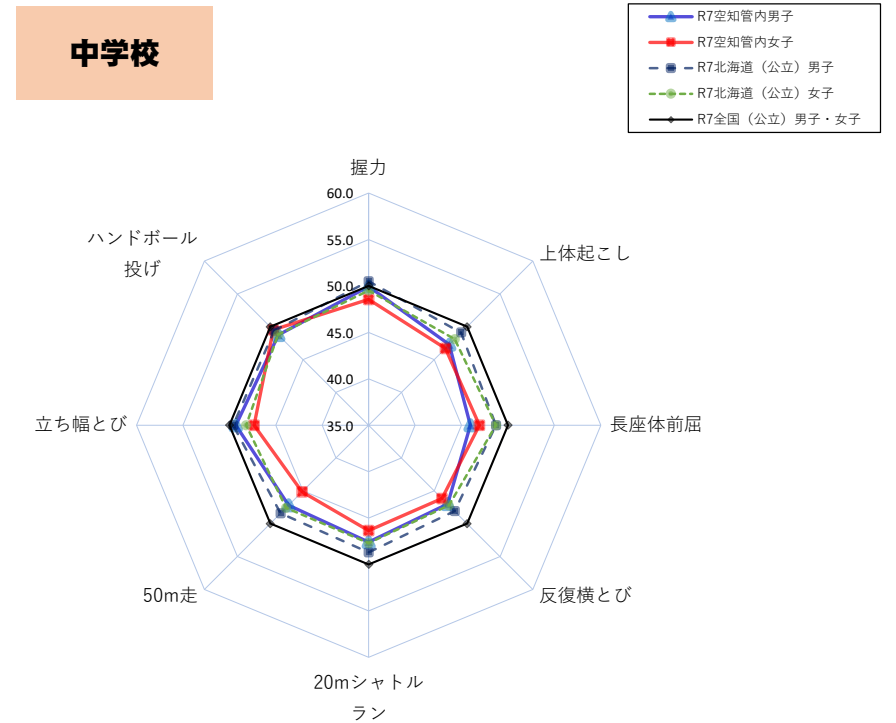
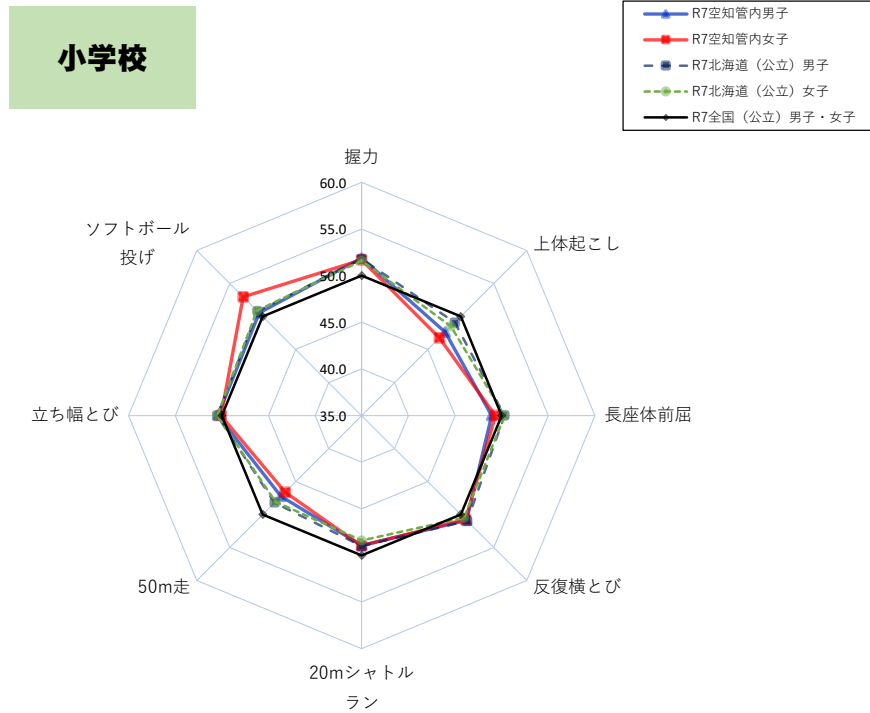
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7空知管内男子	16.69	18.00	32.92	41.64	45.65	9.76	152.00	21.51	52.22
R7空知管内女子	16.26	16.54	37.53	39.28	35.20	10.10	142.55	14.52	53.31
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7空知管内男子	28.90	24.37	40.51	48.85	72.68	8.26	195.25	19.95	38.80
R7空知管内女子	22.46	19.69	43.61	42.73	43.44	9.41	158.85	12.22	42.94
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

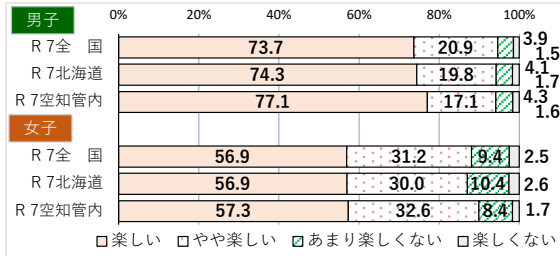


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

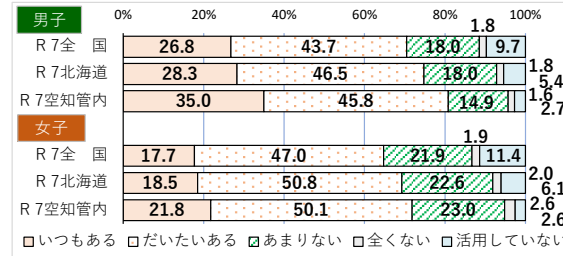
・体育の授業は楽しいですか。



中学校

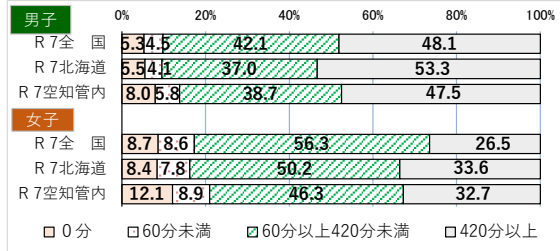
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



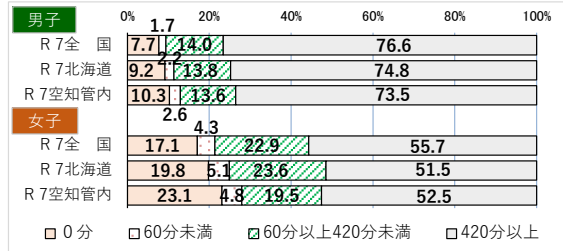
【児童質問調査】

・学校の体育の授業以外で、運動やスポーツをどのくらいの時間していますか。



【生徒質問調査】

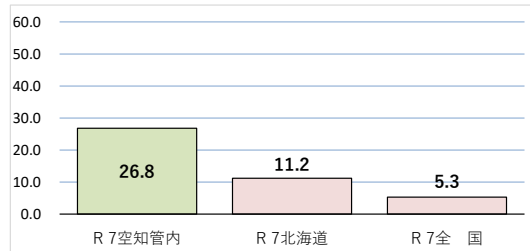
・学校の運動部や地域のクラブ活動、地域のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツ、それぞれ何分ぐらい活動していますか。



【学校質問調査】

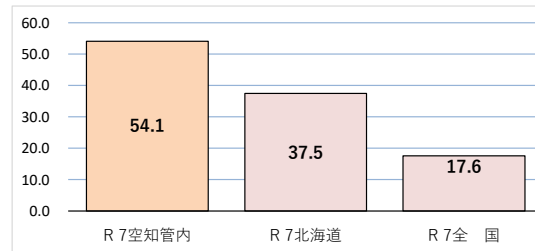
小学校

・体育授業において毎時間ICTを活用している。



中学校

・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業において継続的にICTを活用し、運動の楽しさを実感できる指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・小学校においては、学校の体育の授業以外での運動時間が全国及び全道を下回っていることが、体力合計点が全国及び全道を下回った要因の一つとして考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において継続的にICTを活用し、技能や知識の定着につなげるための指導の工夫を行ったことにより、保健体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・中学校においては、学校の運動部や地域のクラブ活動、地域のスポーツクラブ、それ以外の運動やスポーツの運動時間が全国及び全道を下回っていることが、体力合計点が全国及び全道を下回った要因の一つとして考えられる。

■ 空知管内の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた各学校における体力向上の取組に係るカリキュラム・マネジメントの充実
- ・スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進及び授業実践セミナー等の開催による好事例の普及・啓発
- ・各市町教育委員会との連携による望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた協議会の企画・実施及び協議会の内容の普及・啓発

石狩管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校267校・児童数17,244名、中学校136校・生徒数15,217名

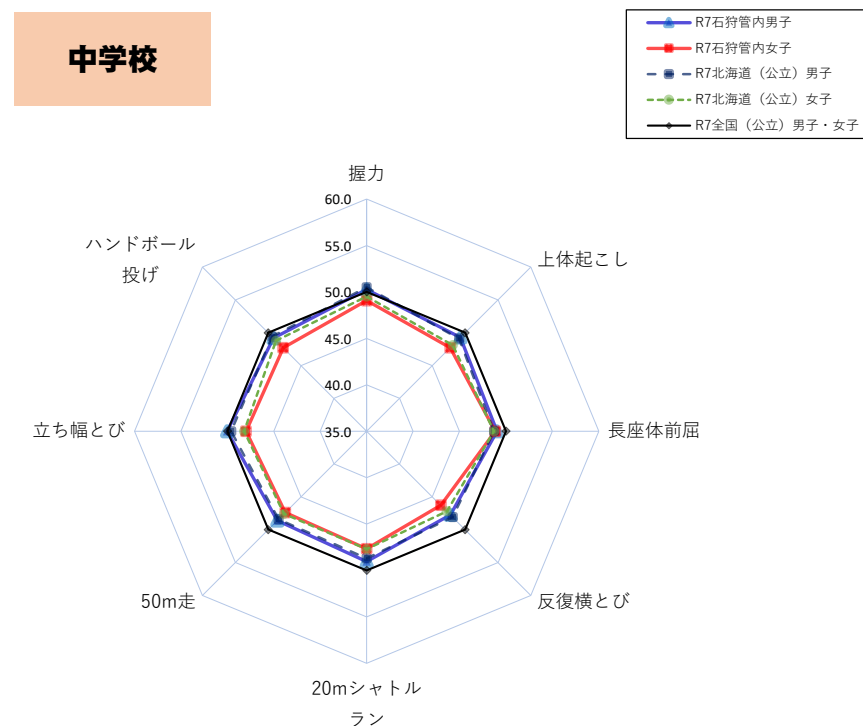
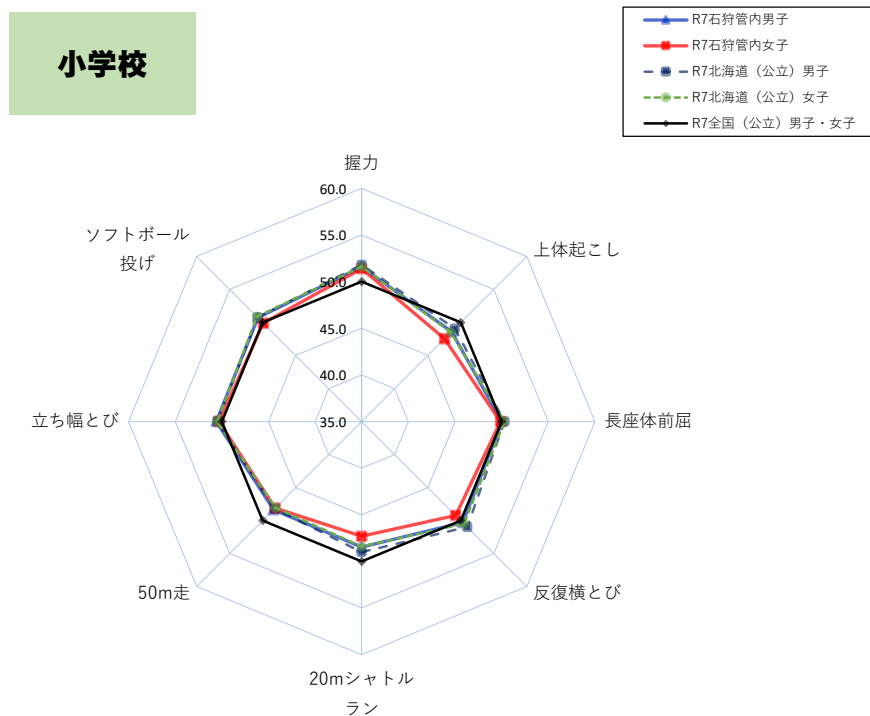
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7石狩管内男子	16.58	18.59	33.91	41.15	44.67	9.64	152.42	21.69	52.50
R7石狩管内女子	16.15	16.99	38.03	38.13	32.51	9.96	143.10	13.08	52.52
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7石狩管内男子	29.14	25.65	44.02	49.53	76.39	8.13	197.59	20.23	41.00
R7石狩管内女子	22.71	20.30	45.72	42.82	46.02	9.21	160.69	11.44	43.94
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

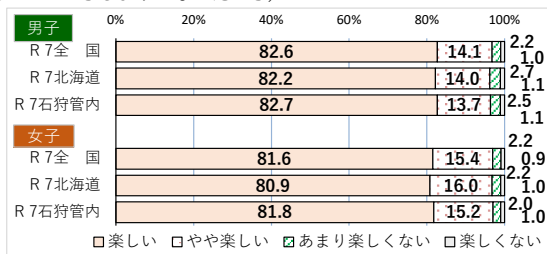


○ 質問調査の状況

小学校

【児童質問調査】

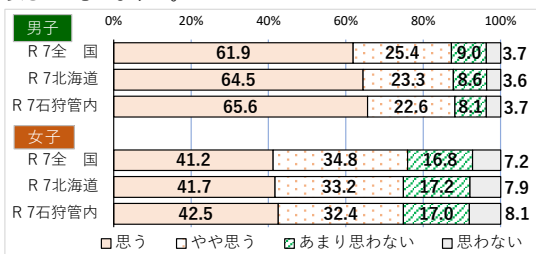
- ・どんなときに体育の授業が楽しいと感じますか。（できなかったことができるようになったとき）



中学校

【生徒質問調査】

- ・中学校を卒業した後も、自主的に運動やスポーツをする時間を持たたいと思いますか。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

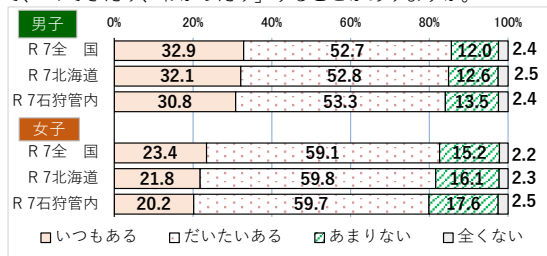
- ・小学校においては、授業において児童生徒に体を動かすことの楽しさを実感させることを大切に、「『できなかったことができるようになったとき』に体育の授業が楽しいと感じる」と回答している児童の割合が多い実態に応じた指導を工夫したことにより、体力合計点が昨年度よりも上昇したと考えられる。

【課題】

- ・全国及び全道と比較して、授業において体を動かすことの楽しさを実感させることを大切にしている学校の割合は高いものの、目標を意識して学習することで「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答した児童の割合が、全国及び全道を下回っており、技能や知識の定着に十分つながっていない要因の一つであると考えられる。

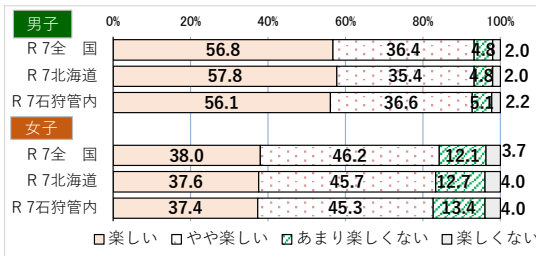
【児童質問調査】

- ・体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



【生徒質問調査】

- ・保健体育の授業は楽しいですか。



中学校

【成果】

- ・中学校においては、授業において体を動かすことの楽しさを実感させることを大切にしたことにより、体力合計点が昨年度よりも上昇するとともに、卒業した後も自主的に運動やスポーツをする時間を持たたいと思うと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

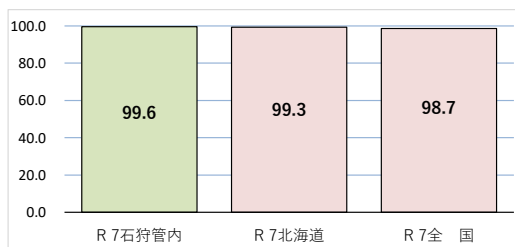
【課題】

- ・全国及び全道と比較して、体を動かすことの楽しさを実感させることを大切にしている学校の割合は高いものの、目標を意識した学習で、「できたり、わかったり」することに課題が見られたことから、「保健体育の授業は楽しい」と肯定的に回答した生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

【学校質問調査】

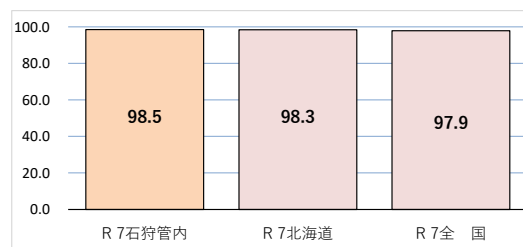
小学校

- ・授業において体を動かすことの楽しさを実感させることを大切にしている



中学校

- ・授業において体を動かすことの楽しさを実感させることを大切にしている



■ 石狩管内の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び新体力テスト結果を踏まえた、体力向上に向けた検証改善サイクルの確立
- ・各学校における体育科・保健体育科の「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
- ・小学校体育エキスパート教員、小学校体育専科教員、中学校体育授業改善推進教員と連携した、各学校の体力向上に係る組織的・協働的な取組の推進

後志管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校54校・児童数1,121名、中学校36校・生徒数1,179名

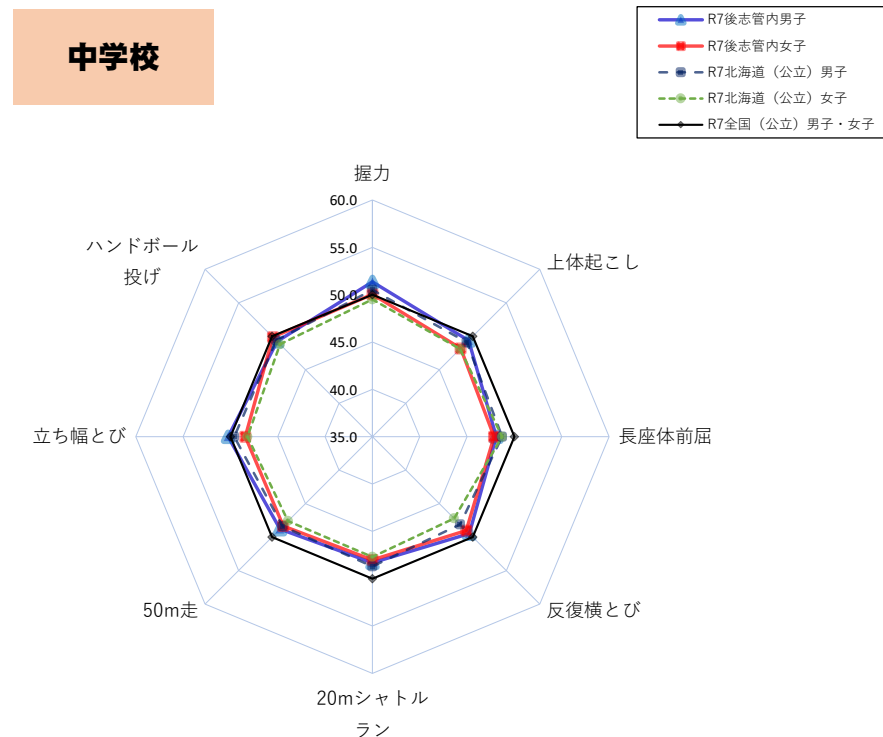
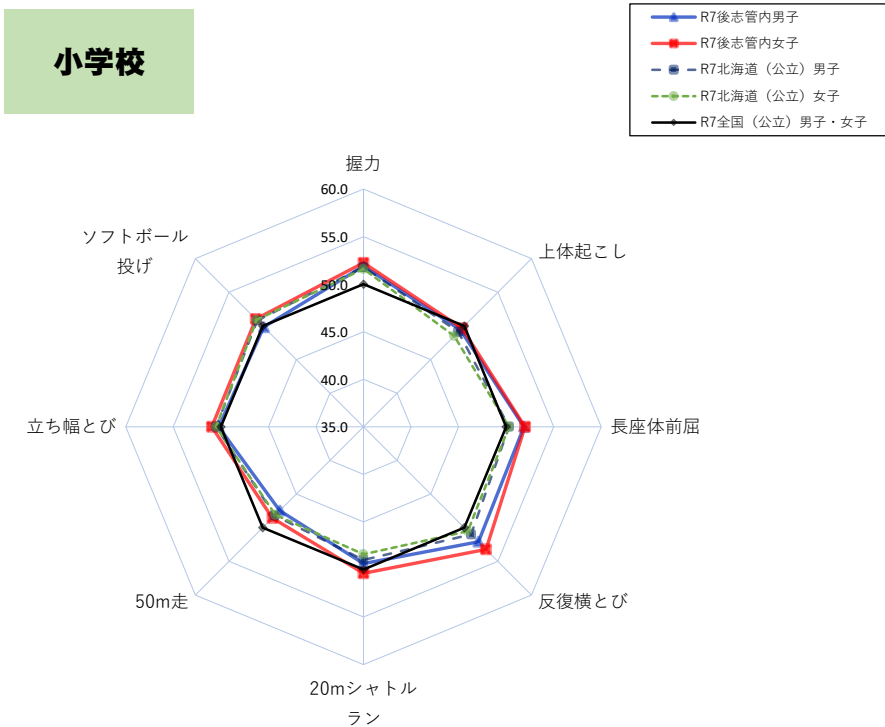
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7後志管内男子	16.70	19.10	35.56	42.67	46.61	9.74	151.50	20.92	53.29
R7後志管内女子	16.48	18.17	39.97	41.14	37.49	9.91	144.65	13.60	55.00
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7後志管内男子	29.95	25.69	42.94	51.15	74.52	8.11	198.31	20.26	40.78
R7後志管内女子	23.17	20.59	44.63	44.97	46.69	9.12	161.96	12.38	45.73
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

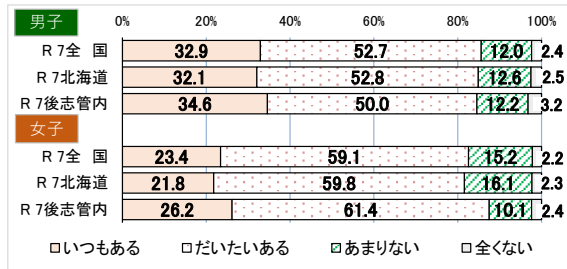


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

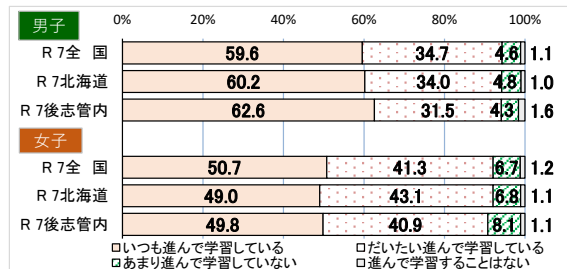
【児童質問調査】

・体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識した学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【児童質問調査】

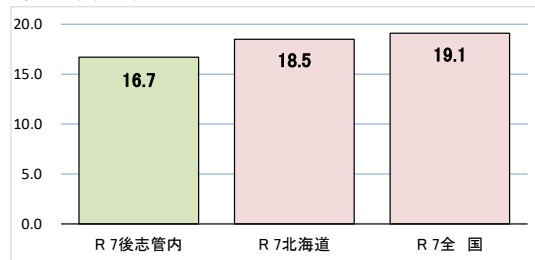
・体育の授業で、進んで学習に参加していますか。



【学校質問調査】

小学校

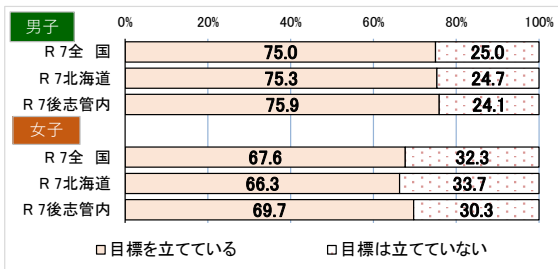
・児童が主体的に体力向上に取り組むために、運動時間が少ない児童に対する取組を行っている



中学校

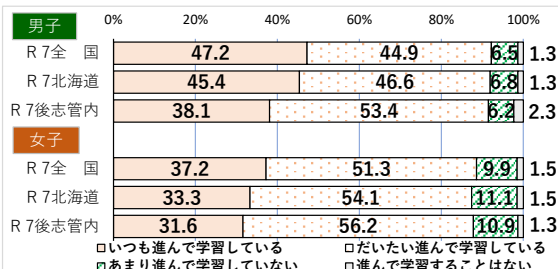
【生徒質問調査】

・体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てていますか。



【生徒質問調査】

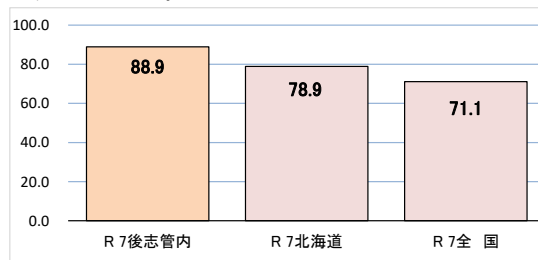
・保健体育の授業で、進んで学習に参加していますか。



【学校質問調査】

中学校

・保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標を生徒に示す活動をいつも取り入れている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・管内で、目標を設定し、意欲的に取り組む授業づくりを進めたことにより、「体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識した学習をすることで『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答した児童の割合や体力合計点が、男女とも全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・「体育の授業で、進んで学習に参加している」と肯定的に回答している児童の割合が、男子において全国を下回り、女子において全国及び全道を下回っている状況は、「児童が主体的に体力向上に取り組むために、運動時間が少ない児童に対する取組を行っている」と回答した学校の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

中学校

【成果】

・「保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標を生徒に示す活動をいつも取り入れている」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っていることにより、「体力テストの結果や体力・運動能力の向上について、自分なりの目標を立てている」と肯定的に回答した生徒の割合が、男女ともに全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・体力合計点が、男子において全国及び全道を、女子において全国を下回っている状況は、「保健体育の授業では、進んで学習に参加している」と肯定的に回答した生徒の割合が男女ともに全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

■ 後志管内の体力向上に向けた改善方策

- ・運動が苦手な子どもや運動に意欲的でない子どもへの指導の在り方について配慮しながら、全ての子どもが楽しく、安心して運動に取り組める学習活動に向けた授業改善の推進
- ・子どもが仲間と対話を深め、協力して解決していくプロセスや、自らの学習活動を振り返るプロセスを位置付けるなど、単元を見通した授業改善の推進
- ・各学校が、地域の取組を活用した体力向上に取り組めるよう、地域の運動やスポーツに関する行事の把握及び発信

胆振管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校62校・児童数2,507名、中学校44校・生徒数2,494名

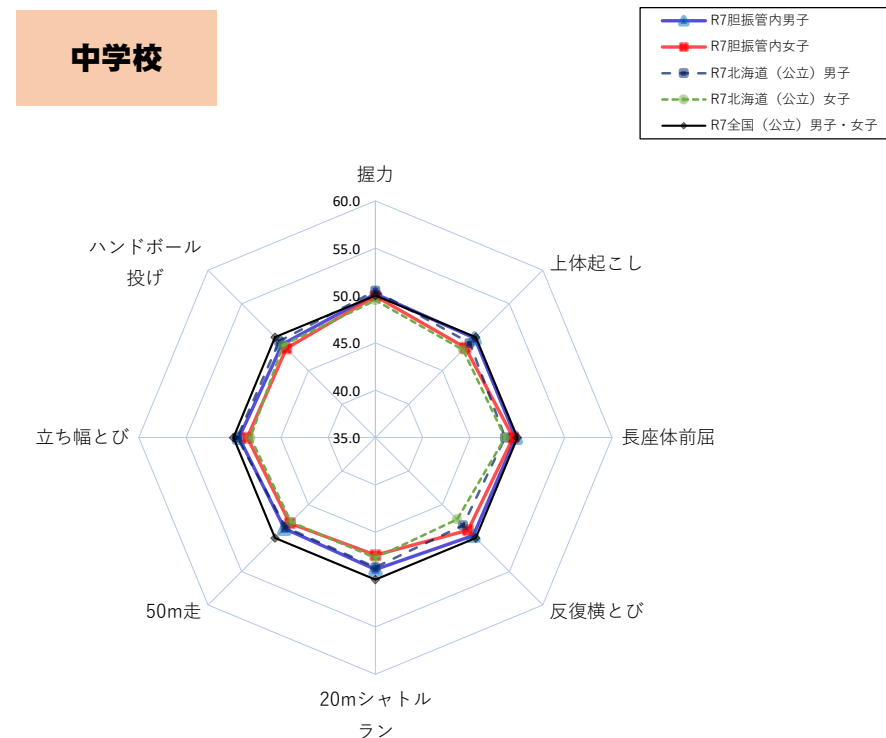
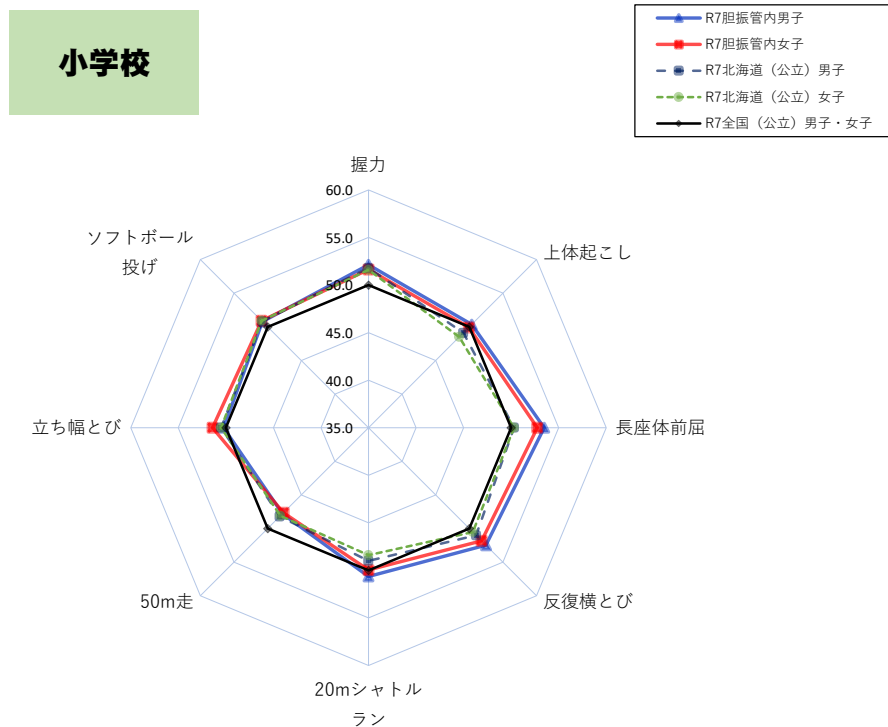
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7胆振管内男子	16.79	19.68	36.99	42.99	49.31	9.71	151.54	21.71	54.10
R7胆振管内女子	16.25	18.31	40.68	40.08	36.78	10.00	145.75	13.54	54.89
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7胆振管内男子	29.08	25.98	44.92	51.30	76.09	8.13	195.58	20.07	40.95
R7胆振管内女子	23.12	20.74	46.51	44.82	45.52	9.17	162.25	11.71	44.76
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

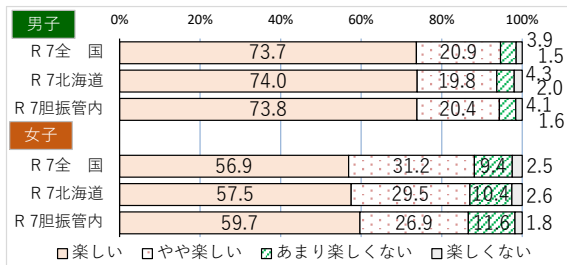


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

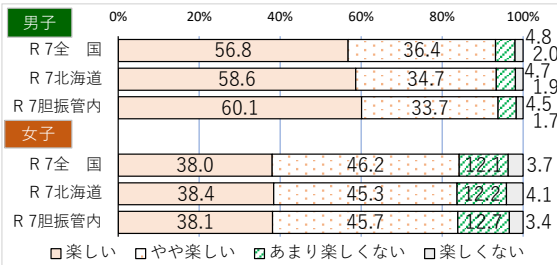
・体育の授業は楽しいですか。



中学校

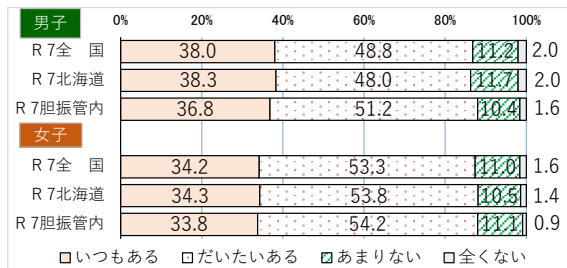
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか。



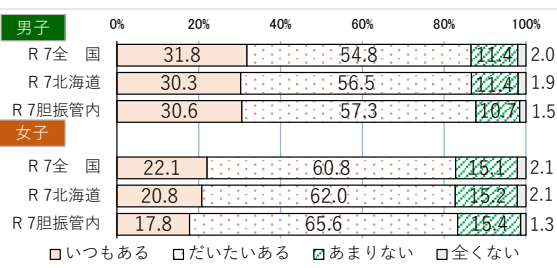
【児童質問調査】

・体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがありますか。



【生徒質問調査】

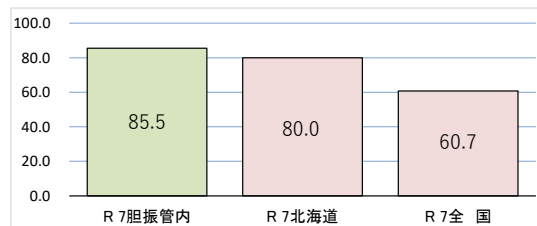
・保健体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがありますか。



【学校質問調査】

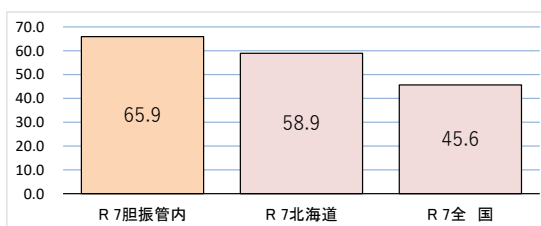
小学校

・体育授業で児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れている。



中学校

・運動やスポーツが苦手な生徒がいる場合、授業中に生徒自らが工夫して（運動を）行えるようにしている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、多くの学校で体育授業において児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れるなど、指導の工夫を行ったことにより、体力合計点が男女ともに全国及び全道を上回るとともに、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が男女ともに全国を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、話し合う活動を全ての学年で取り入れている学校の割合は高いものの、技能や知識の定着が児童の実感に十分つながっていないため、体育の授業で友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で、「できたり、わかったり」することがいつもあると回答している児童の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において、運動やスポーツが苦手な生徒がいる場合、授業中に生徒が自ら工夫して運動を行えるようにするなど、指導の工夫を行ったことにより、体力合計点が男女ともに全道を上回るとともに、「体育の授業が楽しい」と感じる生徒の割合が男女ともに全国を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、運動が苦手な生徒がいる場合に、生徒自らが工夫して運動を行えるようにしているものの、目標を意識した技能や知識の定着に十分つながっていないため、保健体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがいつもあると回答している生徒の割合が、全国を下回ったと考えられる。

■ 胆振管内の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る管内独自資料の作成及び普及啓発
- ・運動やスポーツに意欲的に取り組む態度の醸成に向けた、子どもが自己の能力や適性、興味・関心に応じて、仲間等と気軽に楽しく運動に参加することができる機会の提供
- ・望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた協議会の企画・実施及び運動習慣等の向上を目指し、自ら目標を立て実行するための取組の充実

日高管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校22校・児童数427名、中学校14校・生徒数396名

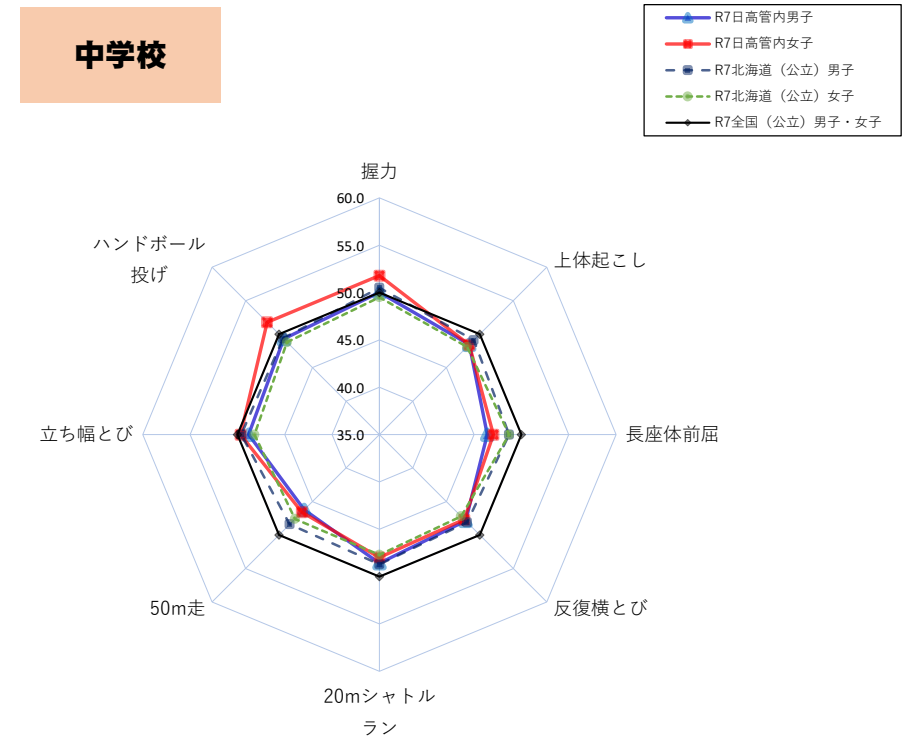
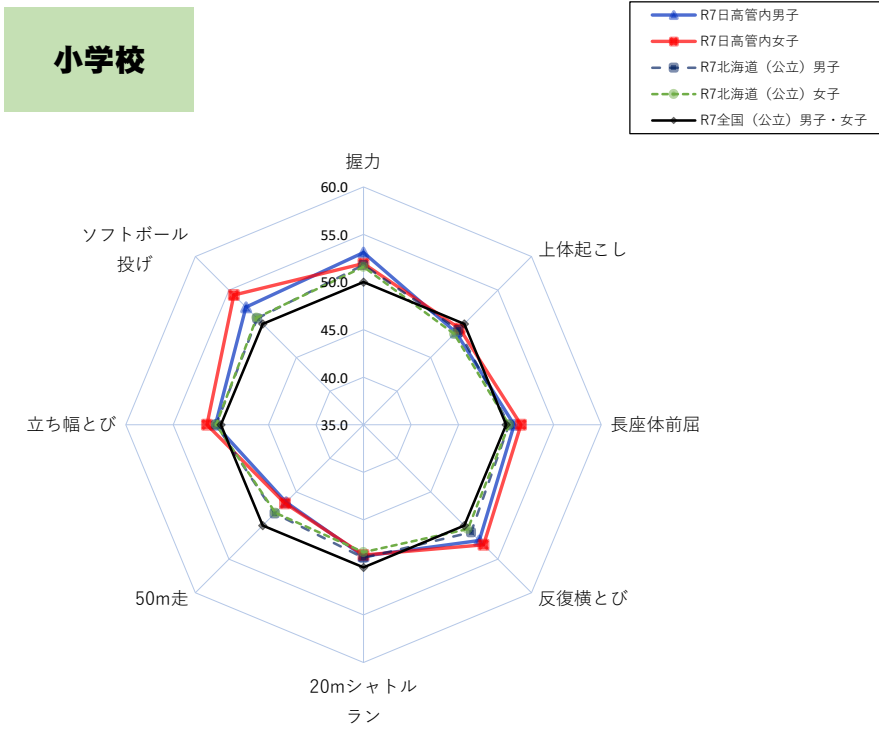
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7日高管内男子	17.17	18.68	34.64	42.76	45.43	9.85	152.36	23.13	53.79
R7日高管内女子	16.36	17.97	39.58	40.87	34.77	10.10	145.89	15.15	54.85
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7日高管内男子	28.96	25.10	41.02	49.65	75.21	8.35	193.65	20.29	39.44
R7日高管内女子	24.01	20.73	43.73	43.92	46.63	9.28	165.51	13.20	46.01
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

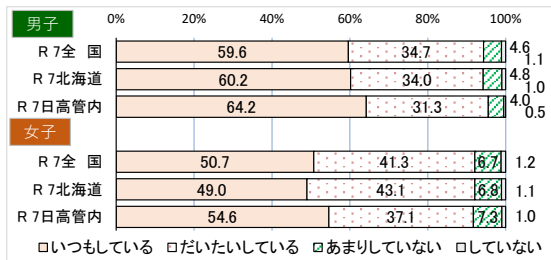


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

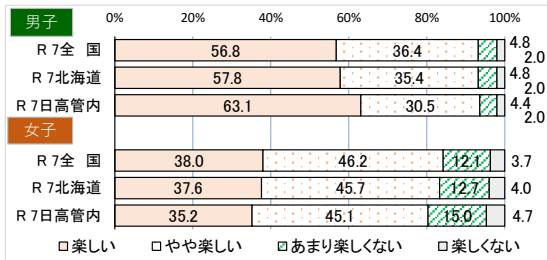
・体育の授業では、進んで学習に参加している。



中学校

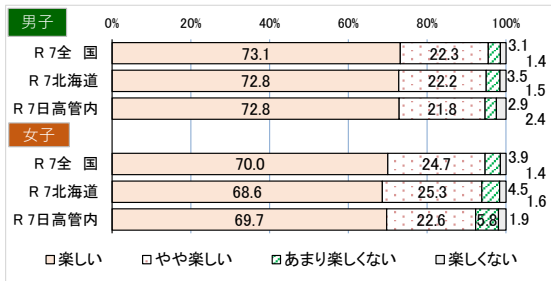
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しい。



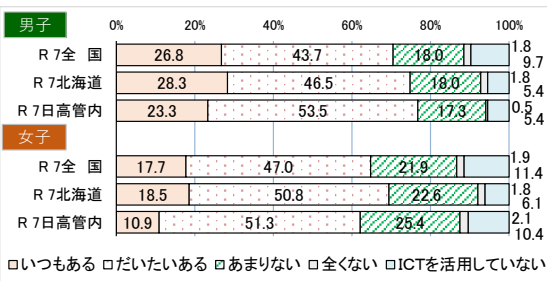
【児童質問調査】

・体育の授業で、友達と交流したり、協力できたりしたとき体育の授業が楽しいと感じる。



【生徒質問調査】

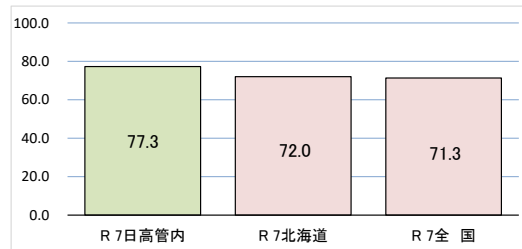
・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがある。



【学校質問調査】

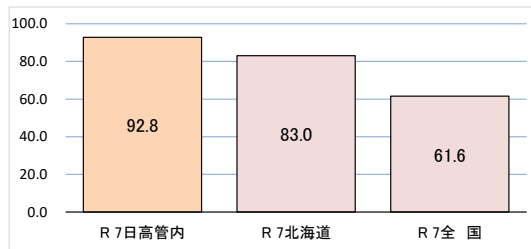
小学校

・体育授業において「技や動きができるようになること」を大切にしている。



中学校

・保健体育授業において週1時間以上ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・体育授業において技や動きができるようになることを大切にしながら運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、授業に対する意欲が高まり、体力合計点が全国及び全道を上回るとともに、「体育の授業では、いつも進んで学習に参加している」と回答している児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、知識及び技能が定着する指導の工夫は図っているものの、協働的な学びの充実に課題が見られることから、「体育の授業で、友達と交流したり、協力できたりしたとき体育の授業が楽しいと感じる」と肯定的に回答している児童の割合が全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・保健体育授業において継続的にICTを活用し、意欲を高める指導の工夫を行ったことにより、女子の体力合計点が全道よりも上回るとともに、「保健体育の授業は楽しい」と回答している男子の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度は高いものの、ICTの活用が知識及び技能の定着に十分つながっていないため、「保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、『できたり、わかったり』することがいつもある」と回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

■ 日高管内の体力向上に向けた改善方策

- ・体育エキスパート教員や中学校体力向上推進教員等を講師にした研修会や各種訪問等で全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る指導助言
- ・各種訪問等でスポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進
- ・各種訪問等で望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組について指導助言及び好事例の普及

渡島管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校75校・児童数2,101名、中学校40校・生徒数2,105名

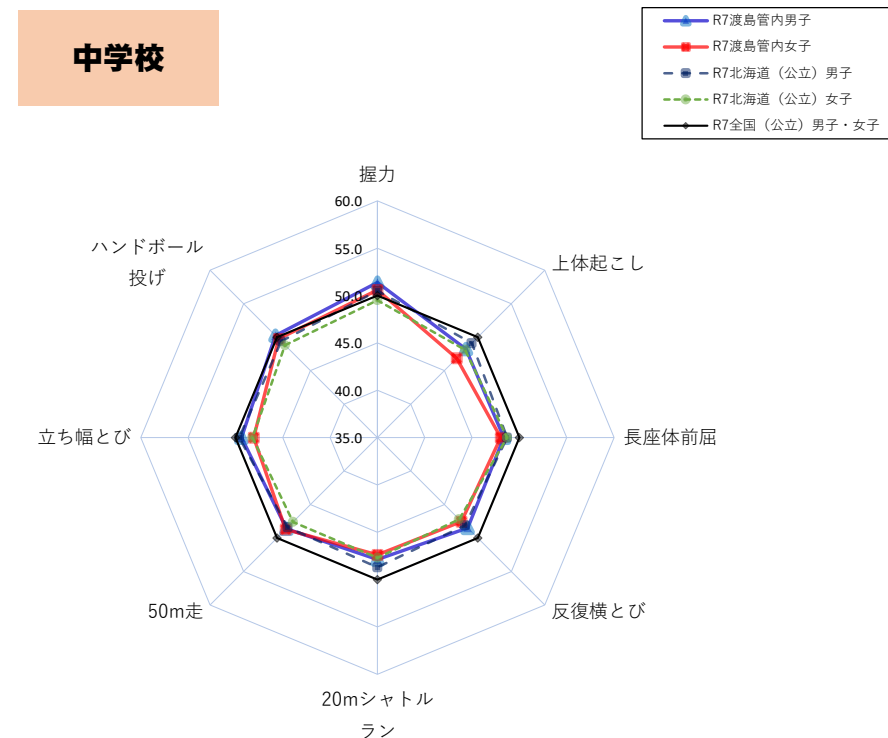
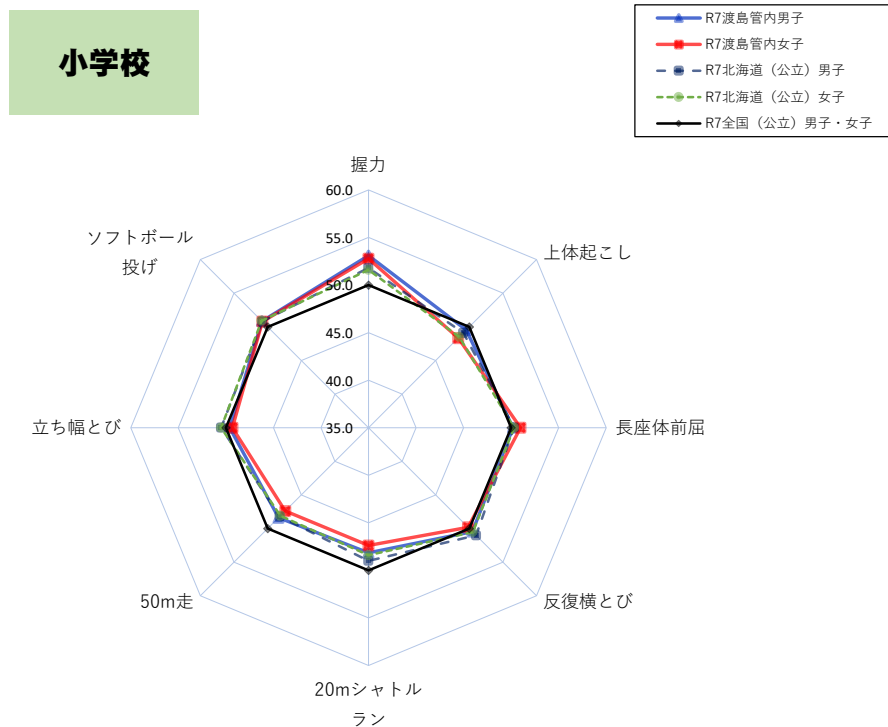
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7渡島管内男子	17.17	19.17	34.05	41.26	44.01	9.64	149.92	21.77	52.88
R7渡島管内女子	16.68	17.42	39.06	38.55	32.64	10.03	140.69	13.48	53.21
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7渡島管内男子	29.97	24.98	43.25	50.22	73.40	8.13	195.41	20.89	40.25
R7渡島管内女子	23.43	19.78	44.82	43.82	45.46	9.09	160.93	12.32	44.94
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

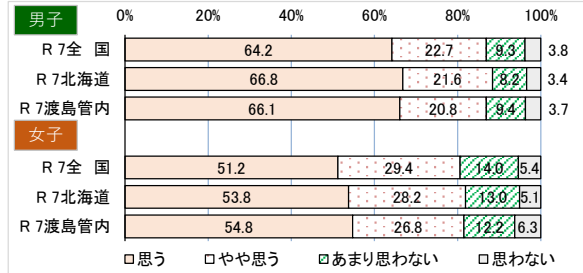


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

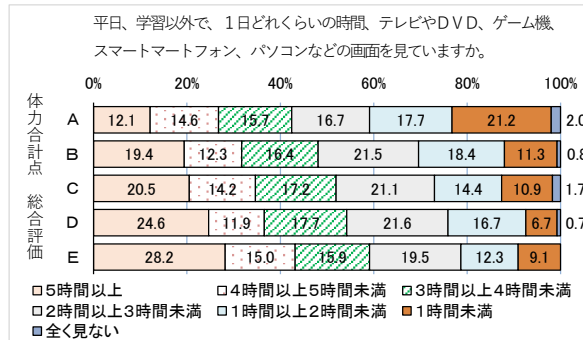
【児童質問調査】

・中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思いませんか。



【児童質問調査】※男子及び女子 クロス集計

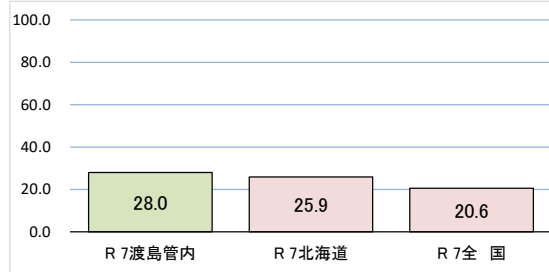
・「平日、学習以外で、1日どれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ていますか。」×「総合評価」



【学校質問調査】

小学校

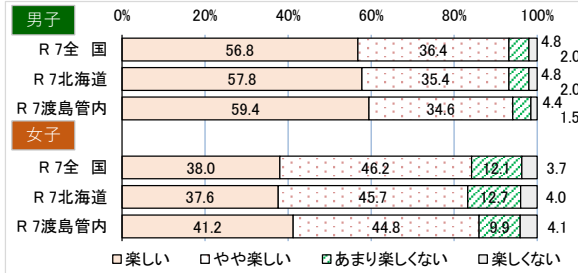
・体育の授業で学習したことを実生活で生かせるようにすることを大切にしている。



中学校

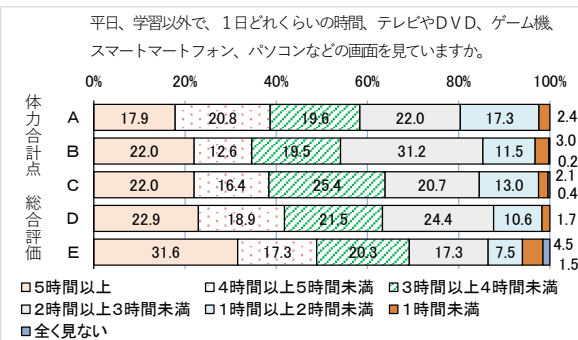
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか。



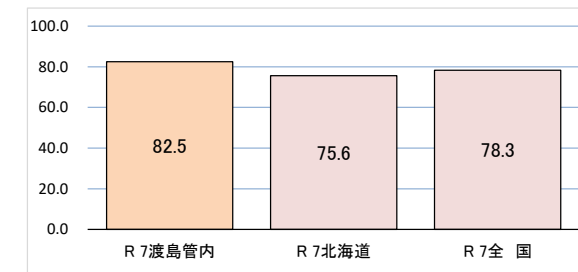
【生徒質問調査】※男子及び女子 クロス集計

・「平日、学習以外で、1日どれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。」×「総合評価」



中学校

・保健体育の授業で運動やスポーツが苦手な生徒がいる場合に、その生徒に合ったルール等で行えるようにしている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育で学習したことを実生活で生かせるようにすることを大切にしたことにより、中学校に進んだら、授業以外でも自主的に運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをする時間を持ちたいと思うと回答した児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【課題】

・「平日、学習以外で、1日どれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。」と「総合評価」をクロス集計した結果、総合評価がD・E層の児童は視聴時間が長いことから、スクリーンタイムの長さや健康的な生活の関係について理解を深めさせる必要がある。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育の授業で運動やスポーツが苦手な生徒がいる場合に、その生徒に合ったルール等で行えるようにしたことにより、保健体育の授業は楽しいと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・「平日、学習以外で、1日どれくらいの時間、テレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見えていますか。」と「総合評価」をクロス集計した結果、総合評価がD・E層の生徒は視聴時間が長いことから、スクリーンタイムの長さや健康的な生活の関係について理解を深めさせる必要がある。

■ 渡島管内の体力向上に向けた改善方策

- ・新体力テストの全学年で全種目を実施するとともに、体力向上プラン等を活用し、学校の教育目標や児童生徒の実態をはじめ、教育課以外の取組を含めた具体的な取組などについて、全教職員で共通理解を図るなど、学校の教育活動全体を通じた組織的・計画的な取組を推進するよう働きかける。
- ・体育・保健体育の授業において、運動やスポーツが苦手な児童生徒に安心感を与えたり、選択肢を与えたりするなどの指導の工夫を行うよう働きかけるとともに、管内の好事例を周知する。
- ・家庭と連携した望ましい生活習慣、運動習慣の確立に向け、家庭、地域の関係団体と連携した取組を共有するとともに、児童生徒が自ら必要な情報を収集し、適切な意思決定や行動選択を行うなど、児童生徒が健康な生活を実践するための資質・能力の育成に向けた組織的な取組を推進するよう働きかける。

檜山管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校15校・児童数155名、中学校10校・生徒数187名

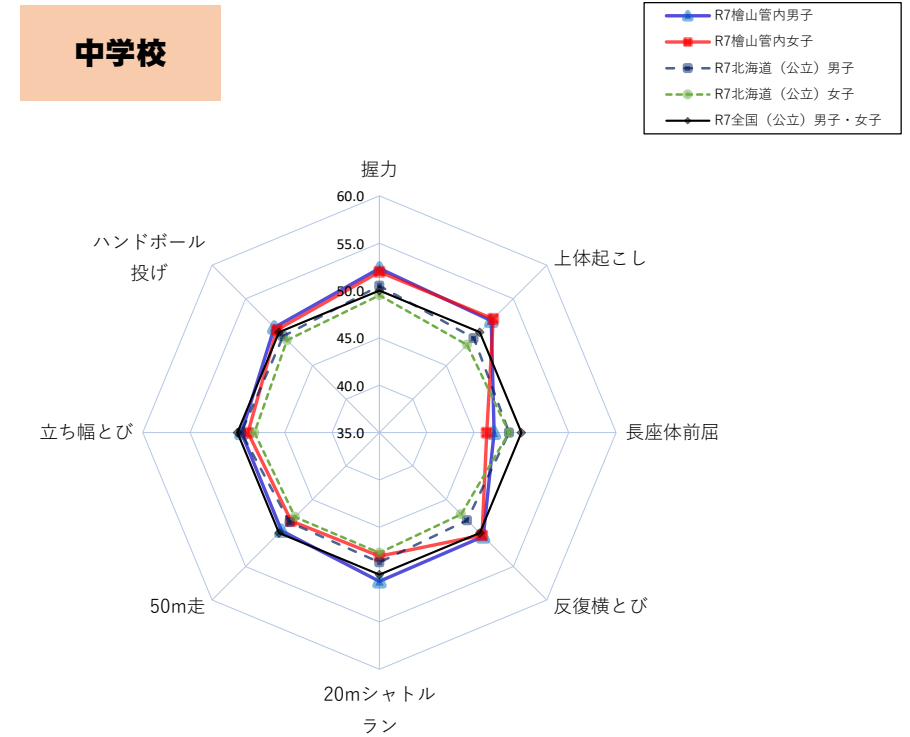
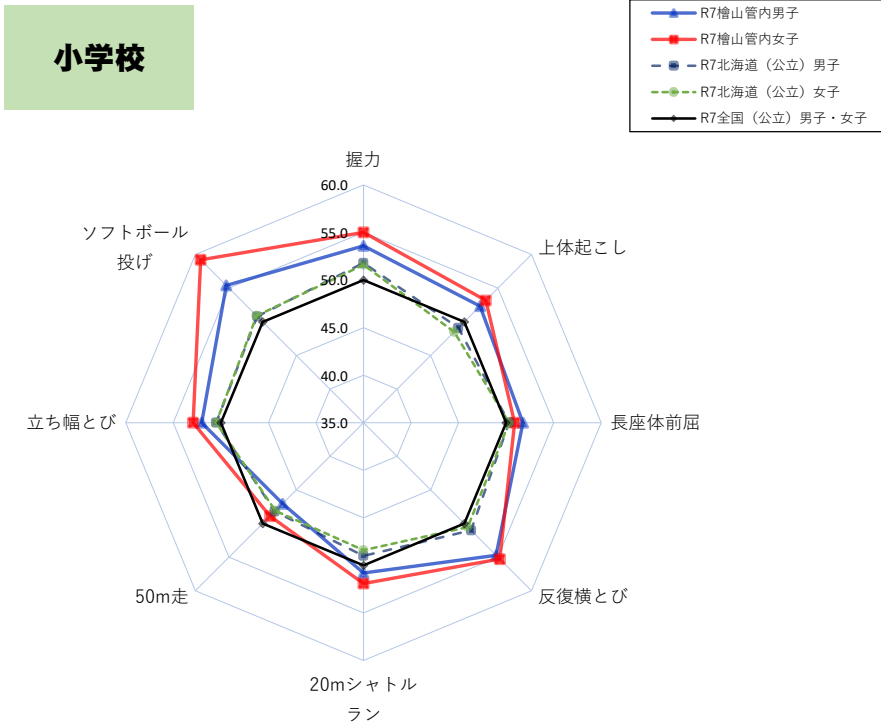
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7檜山管内男子	17.36	20.91	35.46	44.91	49.64	9.79	155.99	25.58	56.34
R7檜山管内女子	17.55	20.16	38.97	42.70	39.91	9.88	149.42	17.50	58.50
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7檜山管内男子	30.67	27.17	41.84	52.12	80.63	8.03	196.14	21.19	42.13
R7檜山管内女子	24.09	22.92	42.96	46.00	46.77	9.13	163.27	12.57	46.90
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

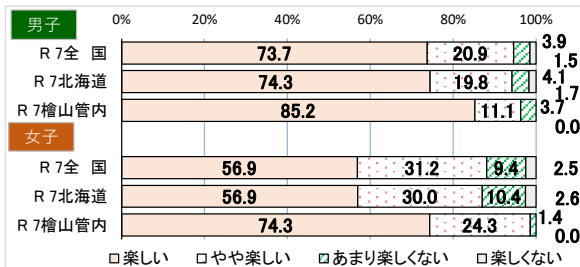


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

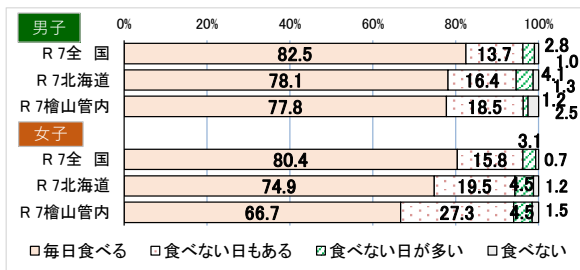
【児童質問調査】

・体育の授業は楽しいですか。



【児童質問調査】

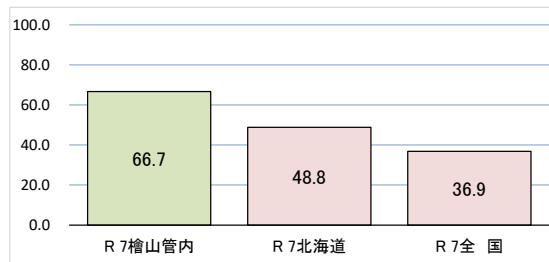
・朝食は毎日食べますか。（学校が休みの日もふくめます）



【学校質問調査】

小学校

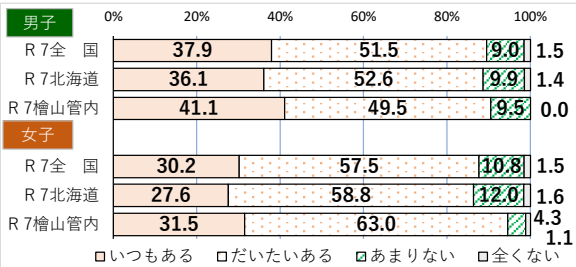
・健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、様々な場面で計画的に伝えるようにしている。



中学校

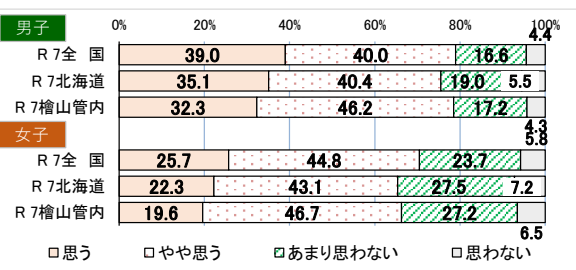
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



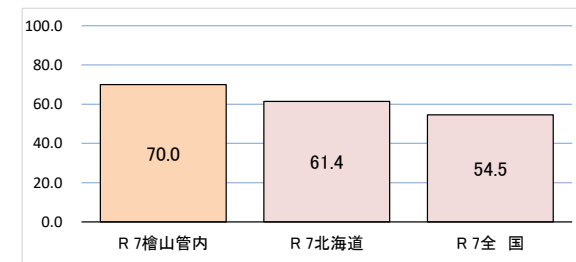
【生徒質問調査】

・保健の授業で学習した運動、食事、休養および睡眠に気をつけた生活を送れていると思いますか。



中学校

・保健体育授業では、生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動をいつも取り入れていますか。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が、全国及び全道を上回ったことにより、体力合計点が昨年度よりも上昇し、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを、様々な場面で計画的に伝えるようにしているなどの工夫を全国及び全道よりも行っているものの、朝食を毎日食べる児童の割合が全国及び全道を下回っている。

中学校

【成果】

・保健体育授業で生徒同士で助け合ったり、役割を果たしたりする活動を取り入れる指導の工夫を行ったことにより、友達と助け合ったり、教え合ったりして学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・体力合計点が全国及び全道を下回っている状況は、保健の授業で学習した運動、食事、休養および睡眠に気をつけた生活を送れていると思うと回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

■ 檜山管内の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえ、オール檜山「学び合い」プロジェクトなどを通して、管内の課題について共有するとともに、体育エキスパート教員の優れた実践等の普及啓発
- ・ICT端末の有効な活用を図るため、スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」等を参考にした「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善を推進
- ・児童生徒の望ましい運動習慣や生活習慣の形成に向け、各町教育委員会やPTA、関係部局等と連携し、今後の取組を充実させるための協議会の企画・実施及び協議会の内容の普及・啓発

上川管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校105校・児童数3,121名、中学校59校・生徒数3,065名

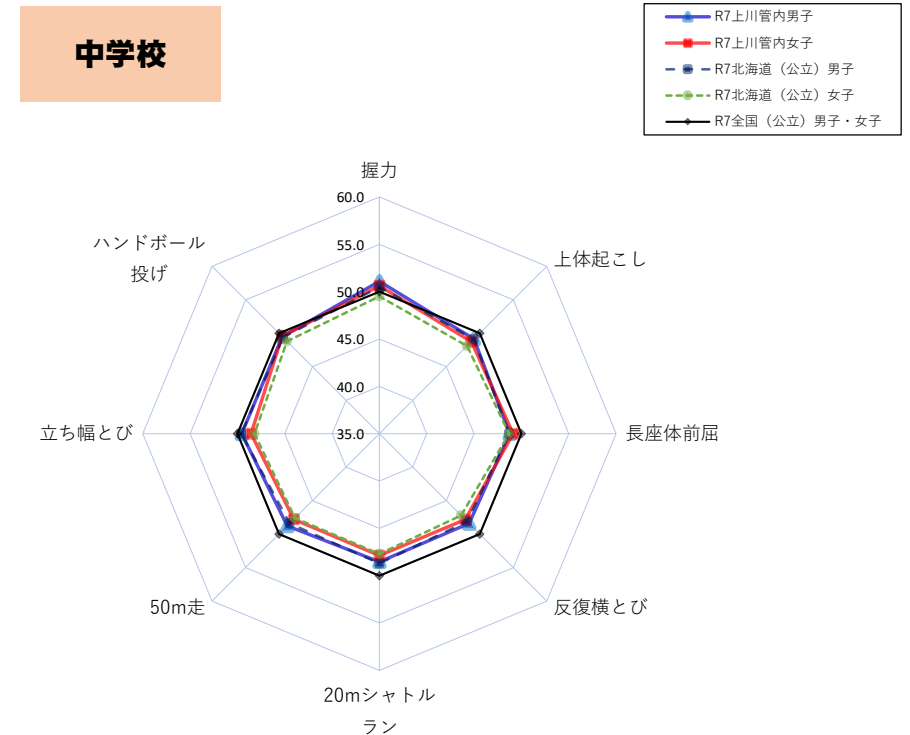
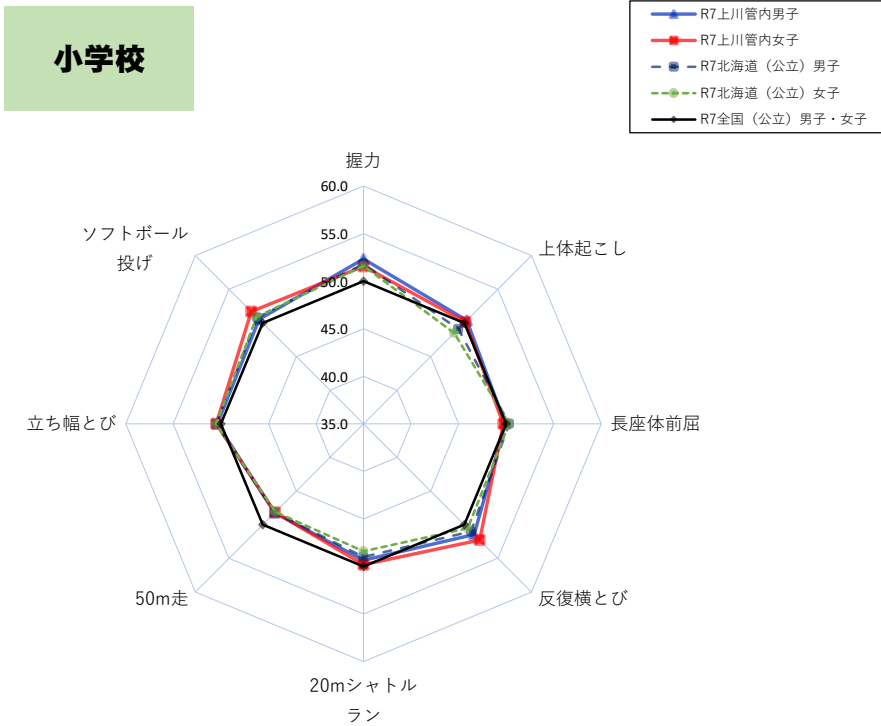
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7上川管内男子	16.87	19.69	33.80	42.13	46.54	9.66	151.87	21.50	53.36
R7上川管内女子	16.21	18.44	37.88	40.42	36.54	9.95	143.54	13.92	54.49
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7上川管内男子	29.75	25.54	43.71	50.16	75.07	8.12	196.02	20.42	41.02
R7上川管内女子	23.44	20.92	46.03	44.03	46.42	9.17	162.33	12.23	45.53
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

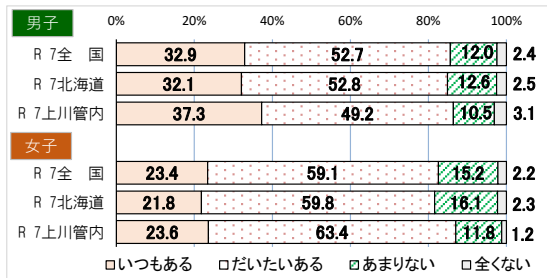


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

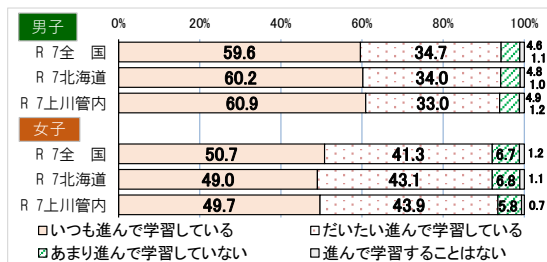
【児童質問調査】

・体育の授業で、目標（ねらい・めあて）を意識して学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【児童質問調査】

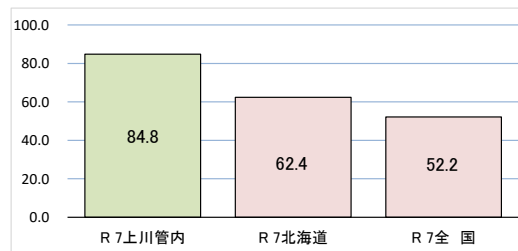
・体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



【学校質問調査】

小学校

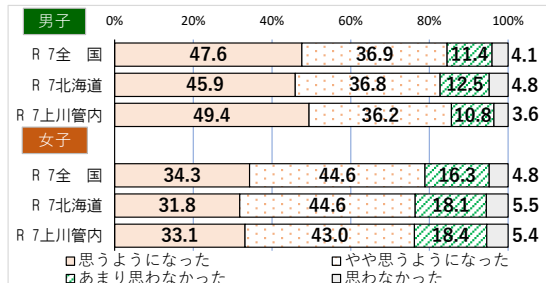
・体育の授業の冒頭で、その授業の目標を児童に示す活動をいつも取り入れている。



中学校

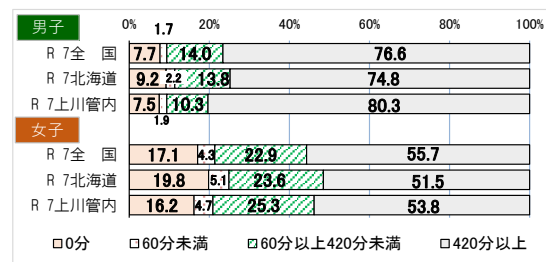
【生徒質問調査】

・保健を学習して、もっと運動しようと思いましたか。



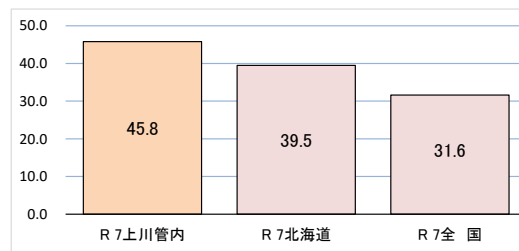
【生徒質問調査】

・1週間の総運動時間



中学校

・保健体育の授業で体育分野と保健分野の関連を図ることを大切にしている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育の授業の冒頭で、その授業の目標を児童に示す活動をいつも取り入れたことにより、「目標を意識して学習することで、『できたり、わかったり』したことがある」と回答している児童の割合が全国及び全道を上回るとともに、体力合計点が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・児童は、目標を意識した活動を行うことができているが、「体育では、進んで学習に参加している」と肯定的に回答している児童の割合が全国及び全道を下回ったため、児童の主体性を高める取組を充実させる必要がある。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育の授業で体育分野と保健分野の関連を図ることを大切にしたことにより、「保健を学習して、もっと運動しようと思った」と回答した生徒の割合が男子では、全国及び全道を、女子では、全道を上回るとともに、男女ともに体力合計点が昨年度よりも上昇したと考えられる。

【課題】

・保健の学習を通して、「もっと運動しようと思った」、「やや思うようになった」と肯定的に回答している生徒の割合が7割を越えているものの、「1週間の総運動時間が0分」と回答している男子の割合が7.5%、女子の割合が16.2%いることから、望ましい運動習慣等の形成に向けた取組を充実させる必要がある。

■ 上川管内の体力向上に向けた改善方策

- ・「できる」「楽しい」はもとより、運動が心身に与える好影響を実感できる授業改善の推進
- ・子ども一人一人のライフスタイルや多様な楽しみ方の視点からの運動習慣等の形成に向けた取組の推進
- ・道教委指定事業加配教員及び管内の研究団体等との連携した授業改善や運動習慣形成の取組の推進
- ・「上川IPPO」を活用した授業改善、運動習慣形成に向けた資料等の普及・啓発

留萌管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校16校・児童数231名、中学校11校・生徒数234名

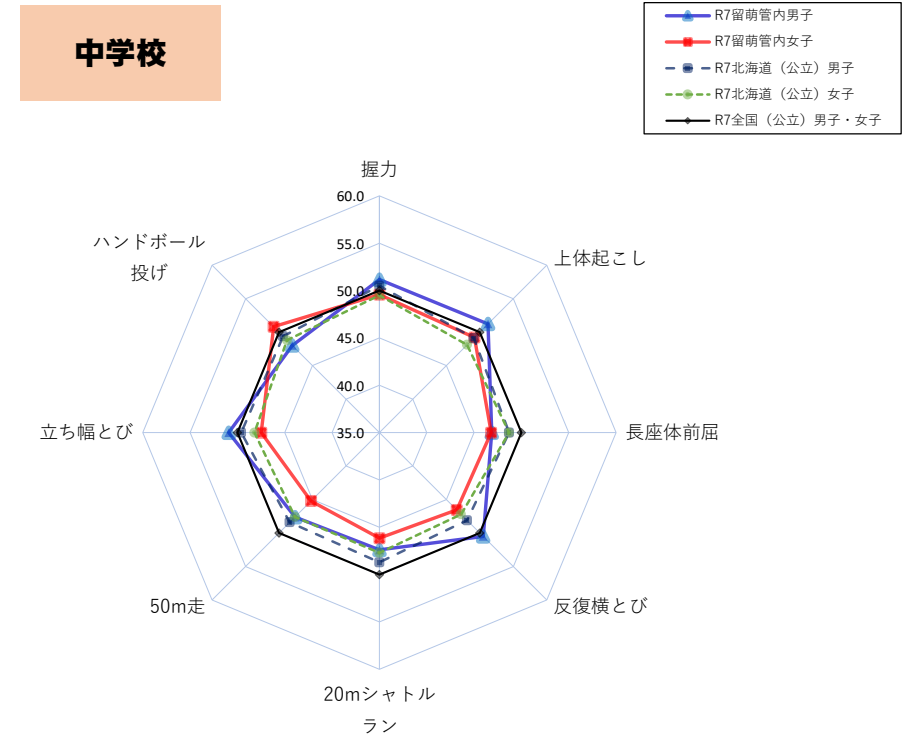
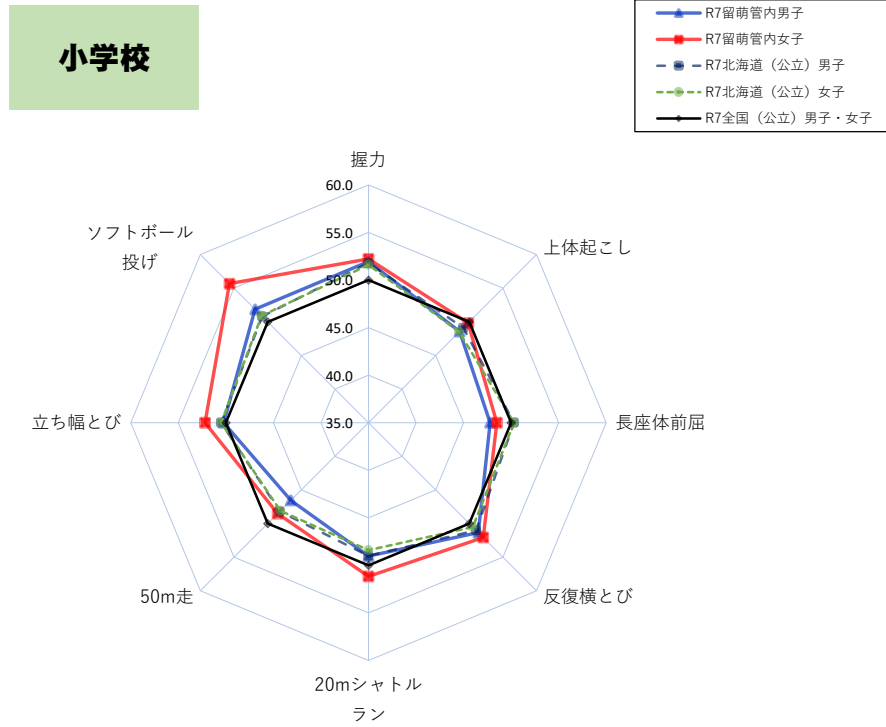
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7留萌管内男子	16.72	18.56	31.90	42.04	45.85	9.84	151.51	22.61	52.41
R7留萌管内女子	16.47	18.26	36.76	40.27	38.71	9.92	147.66	15.81	56.14
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7留萌管内男子	29.81	26.86	41.55	52.12	72.14	8.22	200.53	19.49	41.39
R7留萌管内女子	22.95	21.21	43.48	43.03	43.03	9.41	159.26	12.78	44.05
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

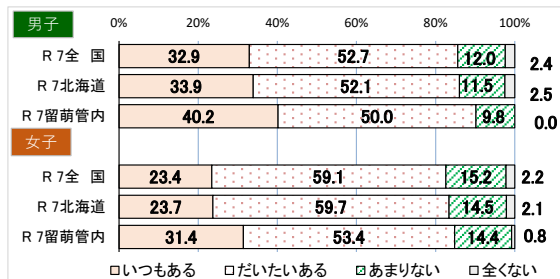


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

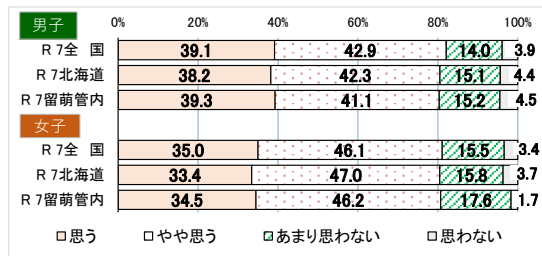
【児童質問調査】

・体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがありますか。



【児童質問調査】

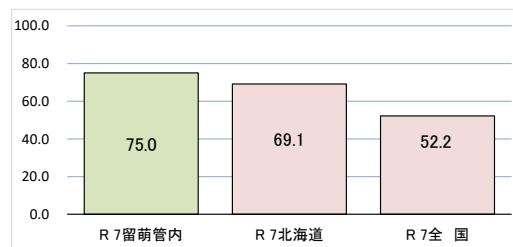
・保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送れていると思いますか。



【学校質問調査】

小学校

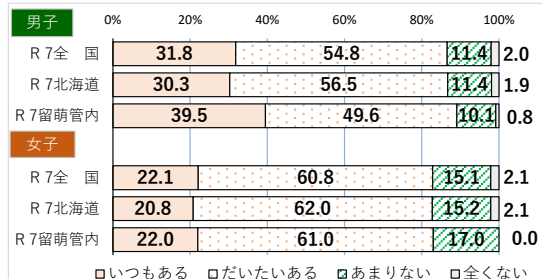
・体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童に示す活動をいつも取り入れている。



中学校

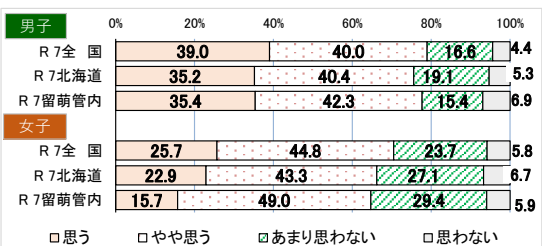
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがありますか。



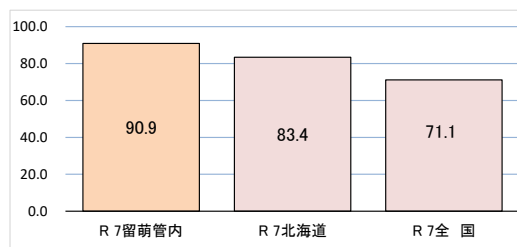
【生徒質問調査】

・保健の授業で学習した運動、食事、休養及び睡眠に気をつけた生活を送れていると思いますか。



中学校

・保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を生徒に示す活動をいつも取り入れている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を児童に示す活動を取り入れたことにより、運動に対する意欲が高まり、管内男女児童ともに体力合計点が昨年度よりも上昇するとともに、「目標を意識した学習で『できたり、わかったり』する」と感じる児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・管内男子児童の体力合計点が全国及び全道を下回っている状況は、「保健の授業で学習した運動、食事、休養およびすいみんに気をつけた生活を送れていると思う」と肯定的に回答している児童の割合が全国を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育の授業の冒頭で、その授業の目標（めあて・ねらい等）を生徒に示す活動を取り入れたことにより、運動に対する意欲が高まり、管内男子生徒の体力合計点が昨年度よりも上昇するとともに、「目標を意識した学習で『できたり、わかったり』する」と感じる生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、「目標を意識した学習で『できたり、わかったり』する」と感じる生徒の割合は上回っているものの、学習した内容が心身の調和的発達を図るための健康的な生活習慣を形成することと十分つながっていないことから、保健の授業で学習した運動、食事、休養および睡眠に気をつけた生活を送れていると思うと肯定的に回答している生徒の割合が、全国を下回ったと考えられる。

■ 留萌管内の体力向上に向けた改善方策

- ・体力・運動能力向上と体を動かすことへの意欲向上を目指した組織的な取組の推進
- ・学習習慣、運動習慣など望ましい生活習慣の確立に向けた市町村・学校・家庭・地域が連携した取組の推進
- ・新体力テストの結果分析に基づく体力向上プランの検証改善サイクルの質的向上に向けた取組の推進
- ・各種研修会の参加を促し、体育・保健体育科の授業改善及び体力向上に向けた具体的方策についての普及・啓発

宗谷管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校34校・児童数371名、中学校21校・生徒数355名

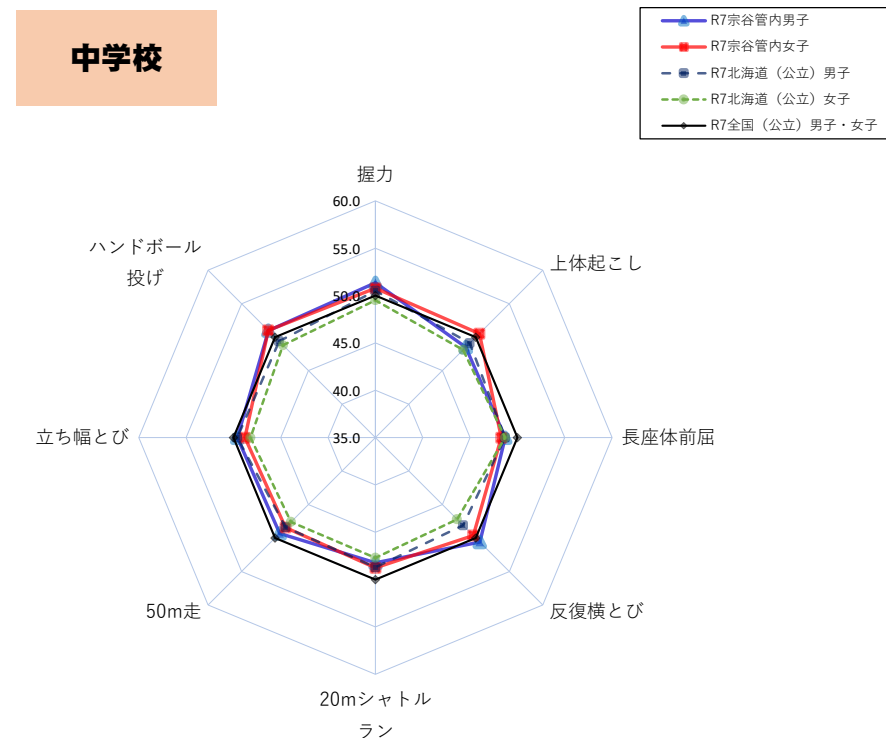
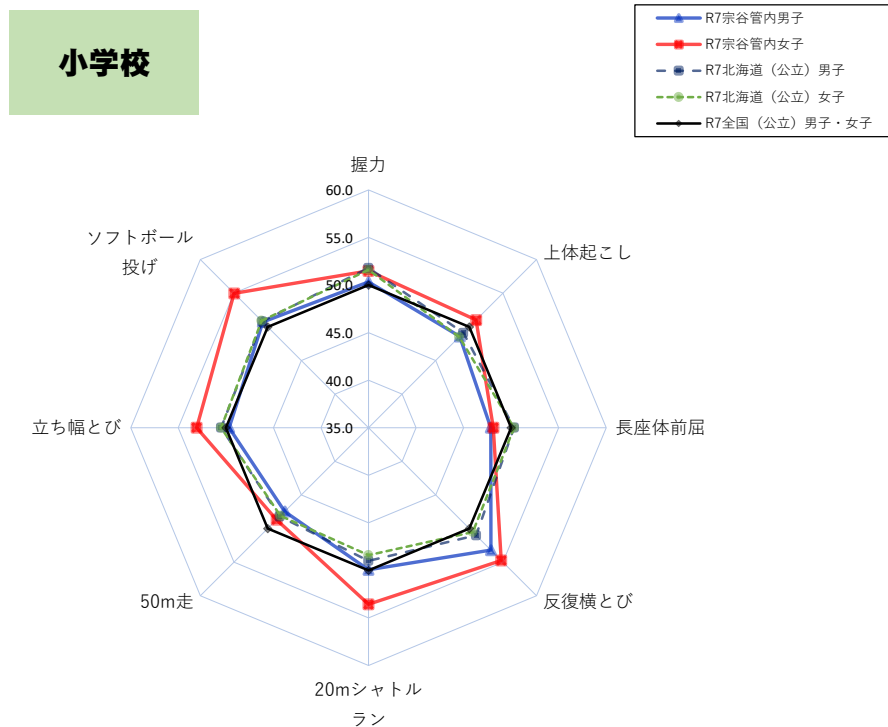
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7宗谷管内男子	16.09	18.58	31.96	43.62	47.80	9.74	150.07	21.66	52.58
R7宗谷管内女子	16.19	18.93	36.43	42.30	42.56	9.90	149.79	15.48	56.31
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7宗谷管内男子	29.94	25.15	43.65	52.20	74.28	8.07	196.19	21.37	41.46
R7宗谷管内女子	23.52	22.03	45.11	45.44	48.15	9.11	162.97	12.87	46.60
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

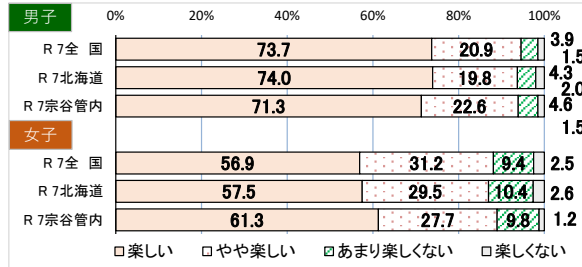


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

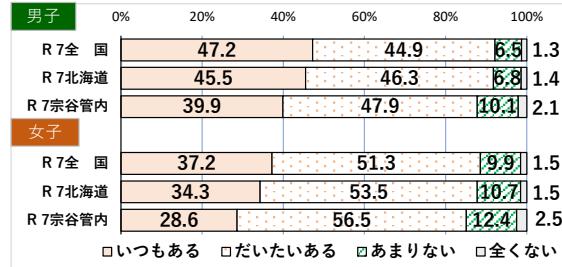
・体育の授業は楽しいですか



中学校

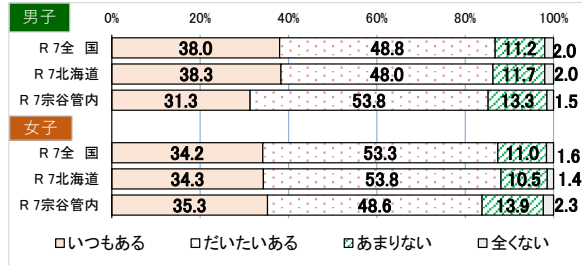
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、進んで学習に参加している



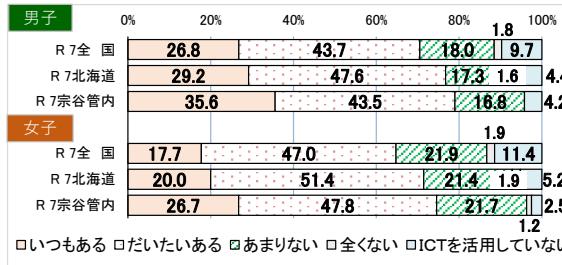
【児童質問調査】

・体育の授業で、友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがありますか。



【生徒質問調査】

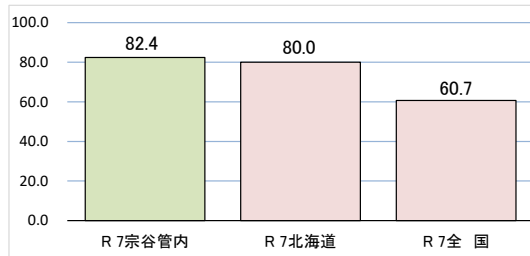
・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【学校質問調査】

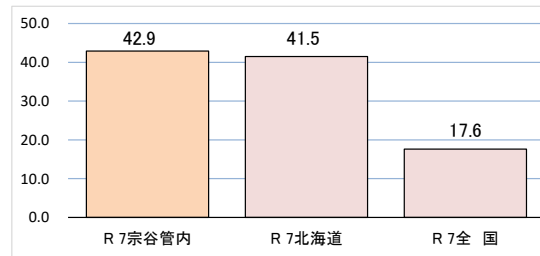
小学校

・体育授業で児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れている。



中学校

・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・各学校において、児童同士で話し合う活動を全ての学年で取り入れたことにより、「体育の授業は楽しい」と回答した児童の割合が全国・全道を上回り、男子で4種目、女子で7種目のT得点及び女子の体力合計点が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・体育の授業で、「友達と助け合ったり、教え合ったりする学習で「できたり、わかったり」することがいつもある」と回答した男子児童の割合が全国及び全道を下回ったことは、男子の体力合計点が全国及び全道を下回った要因の一つとして考えられる。

中学校

【成果】

・各学校において、保健体育授業において毎時間ICTを活用したことにより、「保健体育の授業でICTを使って学習することで「できたり、わかったり」することがいつもある」と回答した生徒の割合が全国・全道を上回り、男女ともに3種目のT得点が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・「保健体育の授業で、進んで学習に参加していることがいつもある」と回答した生徒の割合が全国及び全道を下回っていることが、男女ともに体力合計点が全国及び全道を下回った要因の一つとして考えられる。

■ 宗谷管内の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上プランの作成や体育・保健体育授業の改善・充実に係る組織的、継続的な検証改善サイクルについての指導助言
- ・「管内どさん子元気アップチャレンジ」による、運動機会の創出や授業改革に向けた好事例の収集及び発信
- ・局独自研修「SOYA ALL」の実施や中学校授業改善セミナーの実施及び周知
- ・社会教育との連携及び各市町村教育委員会との連携による望ましい運動習慣・生活習慣を形成するための、運動習慣等形成協議会の企画・実施

オホーツク管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校71校・児童数1,646名、中学校49校・生徒数1,770名

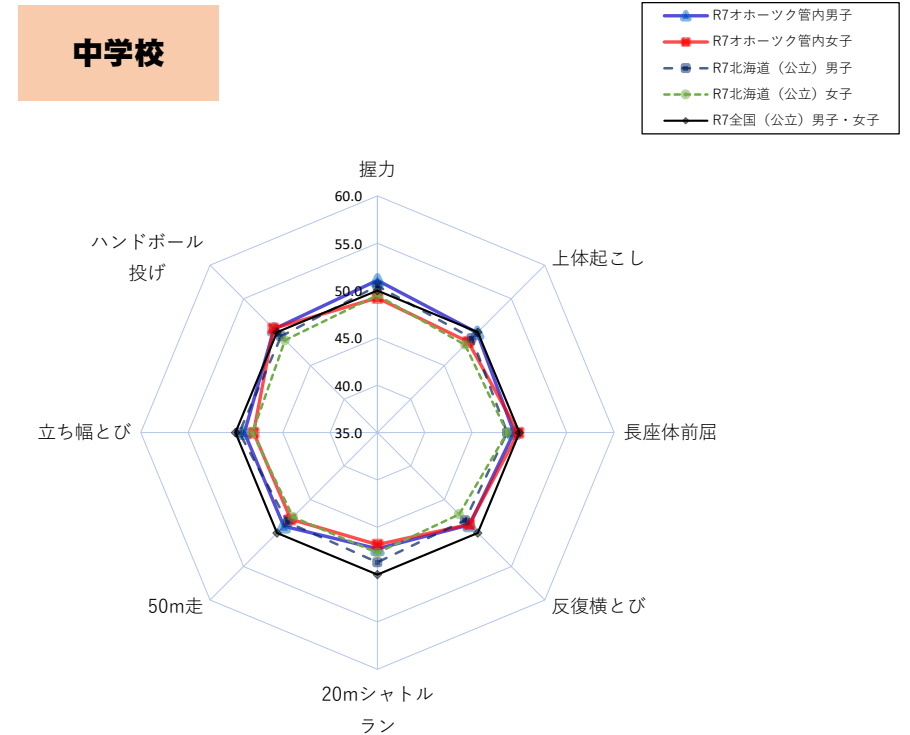
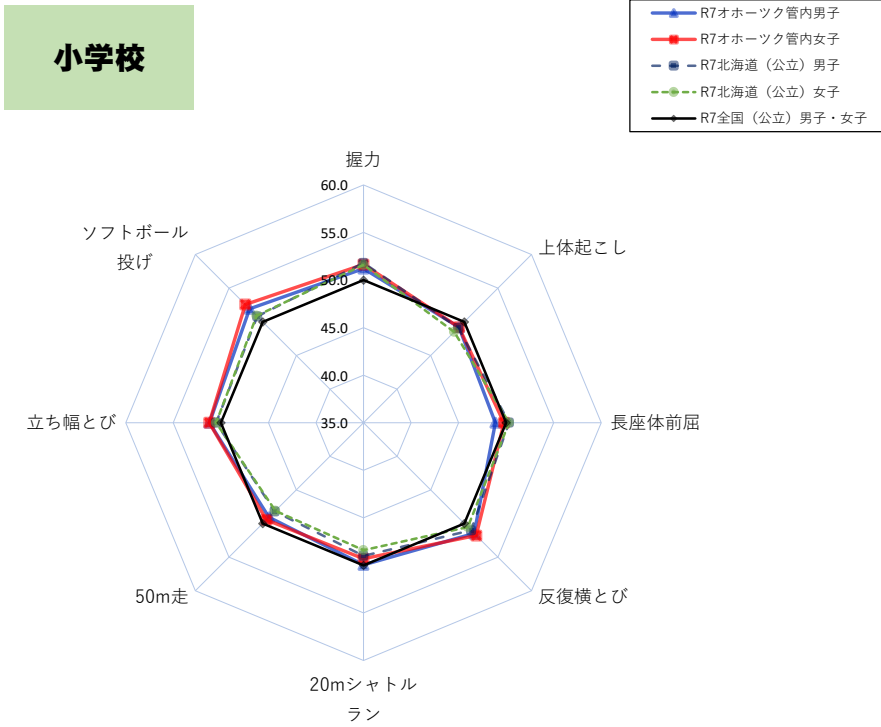
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7オホーツク管内男子	16.43	18.96	32.87	42.13	47.83	9.56	153.94	22.68	53.25
R7オホーツク管内女子	16.24	17.91	37.94	40.04	35.73	9.83	145.31	14.34	54.56
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7オホーツク管内男子	29.75	26.04	44.45	50.49	71.86	8.09	194.42	21.02	41.48
R7オホーツク管内女子	22.78	20.82	46.87	44.72	44.38	9.16	160.96	12.67	45.51
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

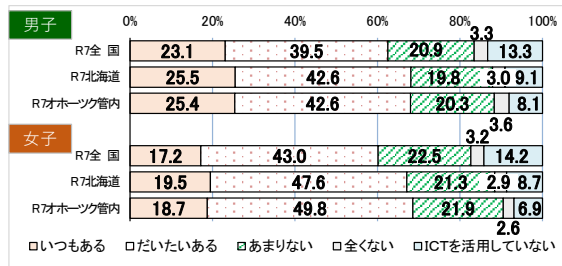


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

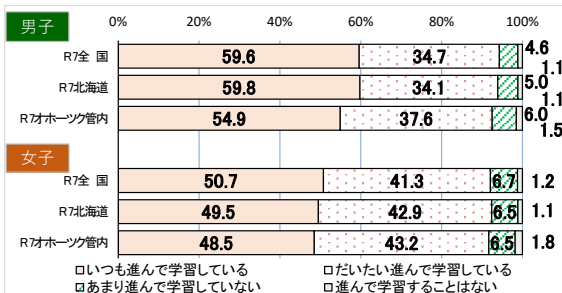
【児童質問調査】

・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【児童質問調査】

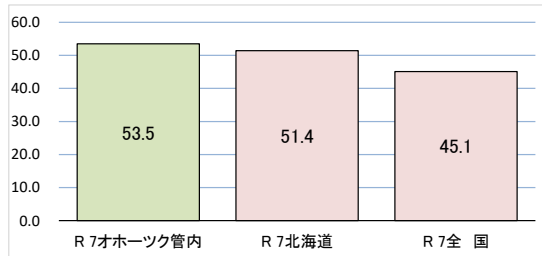
・体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



【学校質問調査】

小学校

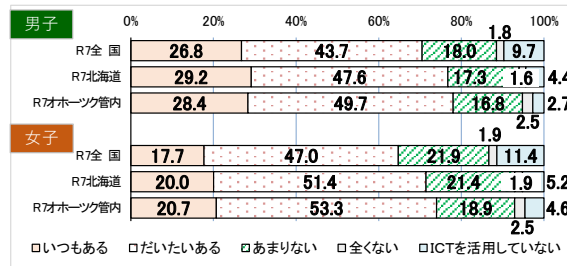
・研究授業、授業研究を行っている。



中学校

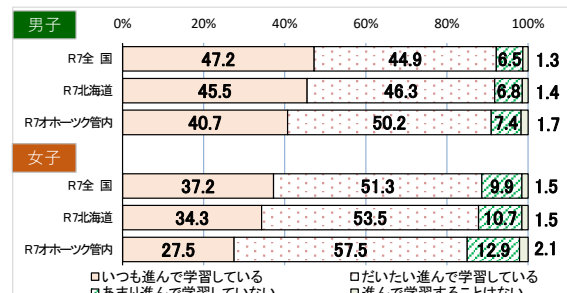
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



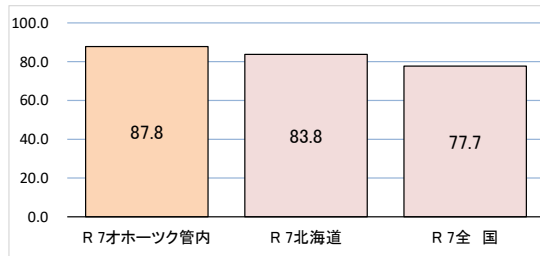
【生徒質問調査】

・保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



中学校

・研究授業、授業研究を行っている。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、研究授業、授業研究を行ったことにより、授業改善が図られ、体力合計点が男女ともに全国及び全道を上回ったとともに、体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、研究授業、授業研究を行っている学校の割合は高く、授業改善が図られているものの、児童の主体的に体育授業に取り組む態度の育成に十分つながっていないため、「体育の授業では、進んで学習に参加している。」と回答している児童の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、研究授業、授業研究を行ったことにより、授業改善が図られ、体力合計点が昨年度よりも上昇するとともに、保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、研究授業、授業研究を行っている学校の割合は高く、授業改善が図られているものの、生徒の主体的に保健体育授業に取り組む態度の育成に十分つながっていないため、「保健体育の授業では、進んで学習に参加している。」と回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

■ オホーツク管内の体力向上に向けた改善方策

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や、児童生徒の主体性を育む体育・保健体育授業の改善・充実に係る指導助言
- ・学校教育指導における体力向上に向けた全体計画に基づいた取組についての協議
- ・運動習慣等形成連絡協議会における、取組の方向性や具体的な内容についての協議、好事例の紹介
- ・地域と連携した具体的な取組の成果普及資料や運動を促すリーフレット等の教育局Webページへの掲載
- ・体育エキスパート教員及び体育専科教員と連携した、学校課題の改善状況の確認及び取組への指導助言と「オホーツク運動プログラム」活用の推進

十勝管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校81校・児童数2,368名、中学校48校・生徒数2,411名

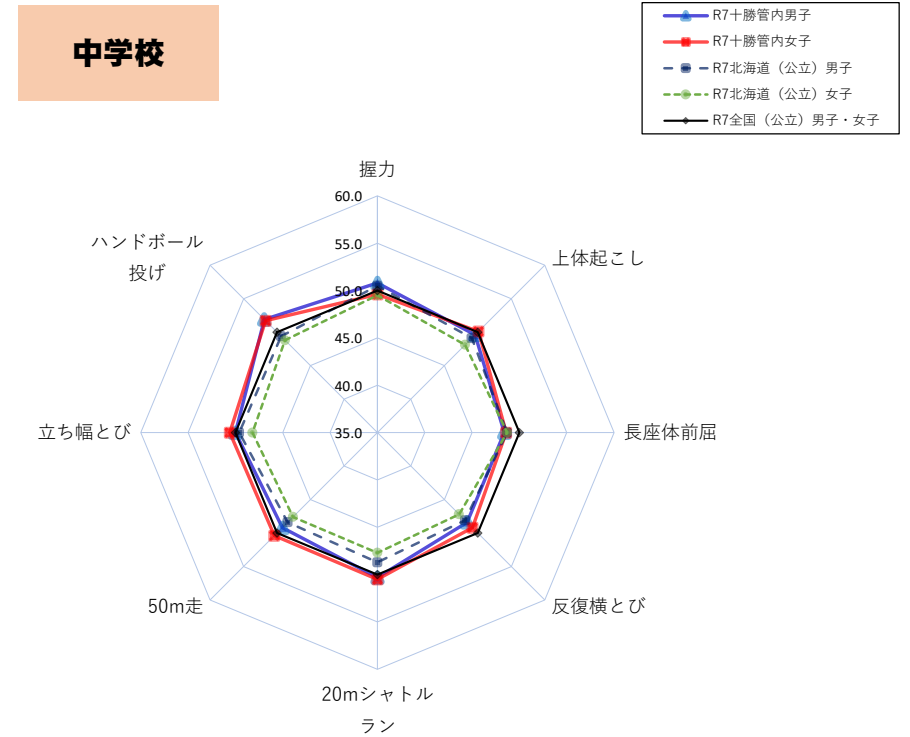
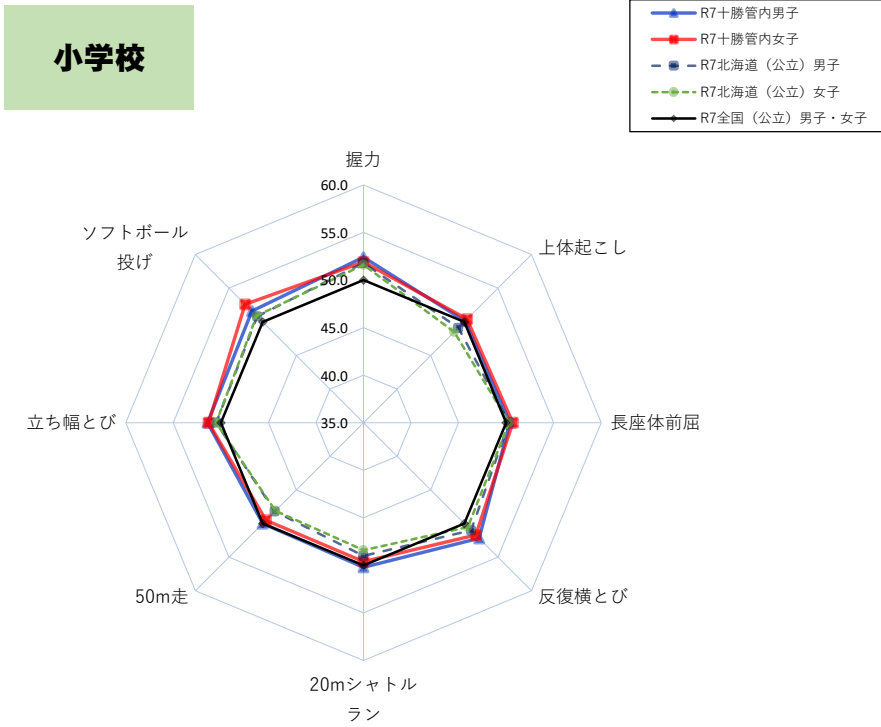
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7十勝管内男子	16.88	19.54	34.26	42.76	48.40	9.46	154.55	22.43	54.32
R7十勝管内女子	16.34	18.59	38.83	39.97	36.19	9.82	145.59	14.34	54.95
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7十勝管内男子	29.54	25.83	43.32	50.13	79.67	8.08	197.55	21.97	42.07
R7十勝管内女子	22.98	21.75	45.50	45.15	51.58	8.93	168.24	13.15	48.23
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.40	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

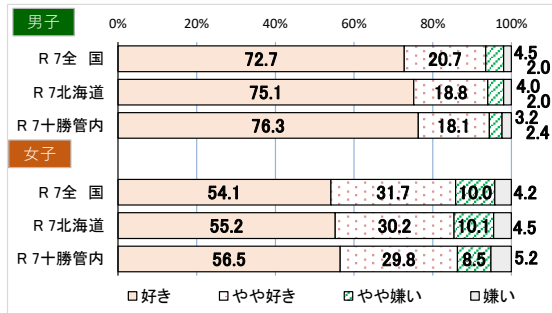


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

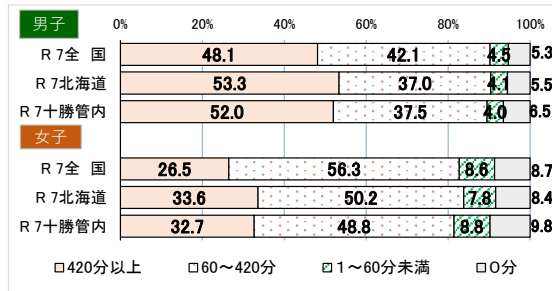
【児童質問調査】

・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



【児童質問調査】

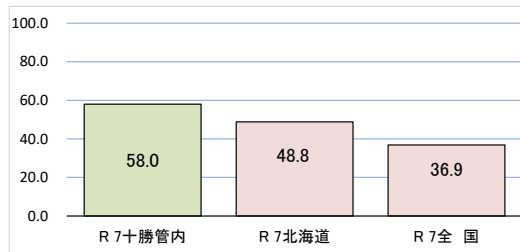
・1週間における体育の授業以外の運動やスポーツの時間



【学校質問調査】

小学校

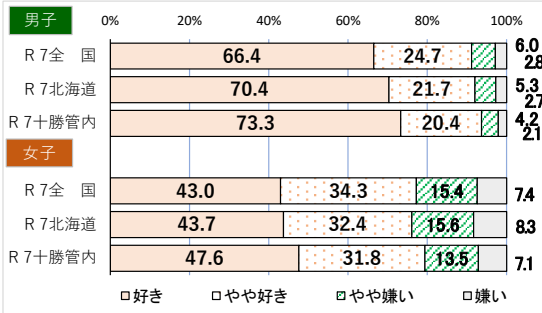
・健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを様々な場面で計画的に伝えている



中学校

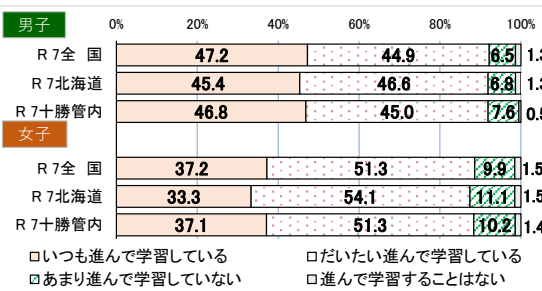
【生徒質問調査】

・運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか



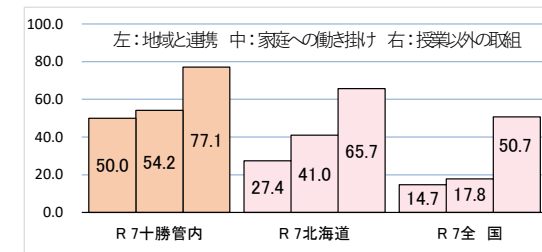
【生徒質問調査】

・保健体育の授業では、進んで学習に参加していますか



中学校

・生徒が主体的に体力向上に取り組むための取組



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、学校が運動に対する自己の適性等に応じた「する・みる・支える・知る」という多様な関わりをもたせ、健康三原則（運動、食事、休養及び睡眠）の大切さを様々な場面で計画的に伝えたことにより、体力合計点が全国及び全道を上回ったとともに、「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることが好き」と回答している児童の割合が全国を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、「運動（体を動かす遊びをふくむ）やスポーツをすることは好き」と回答している児童の割合が高いものの、気軽に行える運動や場所等について児童に伝わっていないため、「1週間における体育の授業以外の運動やスポーツの時間が0分」と回答している児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、学校が「保健体育の授業以外の取組」、「家庭や保護者への働き掛け」及び「地域と連携した取組」など、「生徒が主体的に体力向上に取り組むための取組」を行ったことにより、体力合計点が全国及び全道と同等であったとともに、「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好き」と回答している生徒の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、「保健体育の授業が楽しい」と回答している生徒の割合が高いものの、生徒の実態に合った練習の場やルールについて工夫がされていないため、「保健体育の授業では、進んで学習に参加している」と回答している生徒の割合が全国を下回ったと考えられる。

■ 十勝管内の体力向上に向けた改善方策

・学校教育指導訪問において、全国体力・運動能力、運動習慣等調査等による実態把握における同集団の変容への着目及び総合評価がD、Eの児童生徒への手立での検討・実施に係る指導助言を行う。

・小学校体育専科教員、エキスパート教員、スペシャリスト教員の学校訪問による授業改善に資する指導助言を行うとともに、管内教科研究団体と連携し、児童生徒が日常的に楽しく体を動かすことができる環境づくりや、運動をしていることを実感できている好事例の情報を共有する。

釧路管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校52校・児童数1,292名、中学校35校・生徒数1,258名

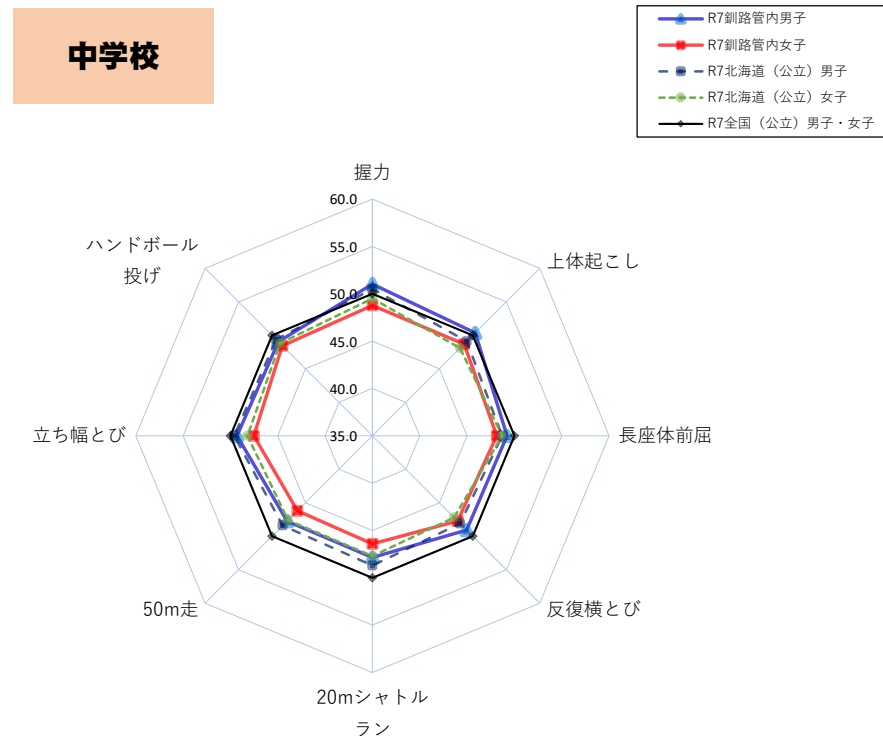
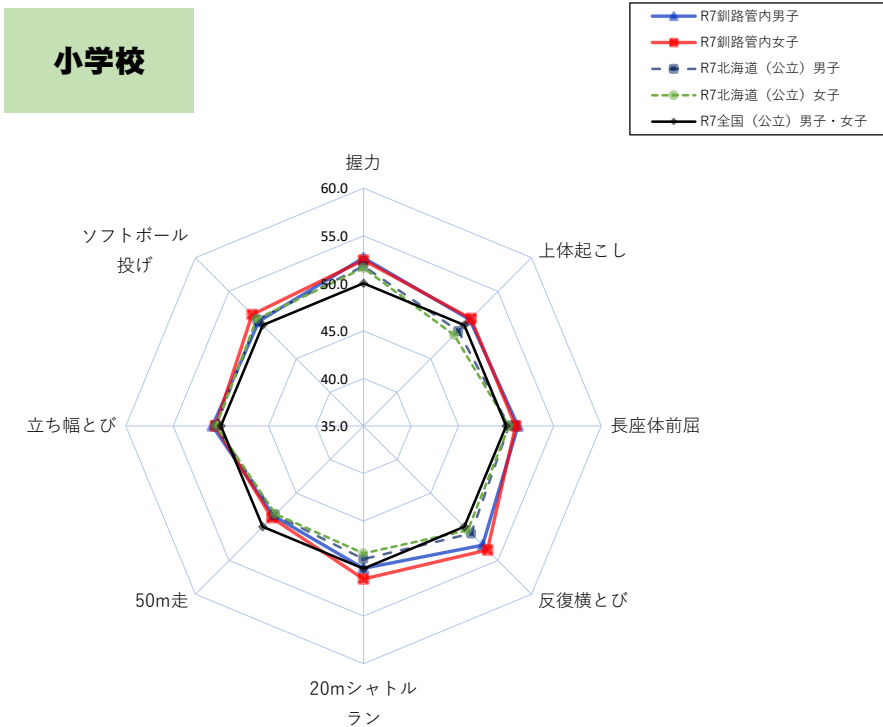
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7釧路管内男子	17.00	19.96	35.00	43.20	47.88	9.64	153.16	21.53	54.07
R7釧路管内女子	16.55	18.91	39.06	41.31	38.60	9.91	143.72	13.85	55.53
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7釧路管内男子	29.70	26.32	44.23	50.78	73.34	8.21	195.25	20.14	41.02
R7釧路管内女子	22.56	20.90	44.94	43.97	43.56	9.32	159.38	11.76	43.57
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

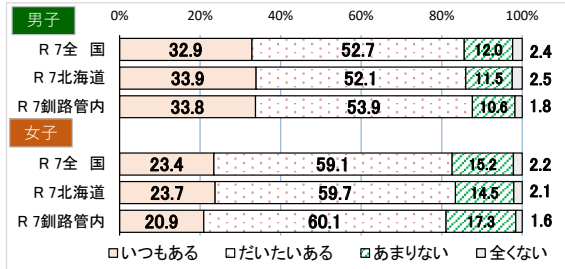


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

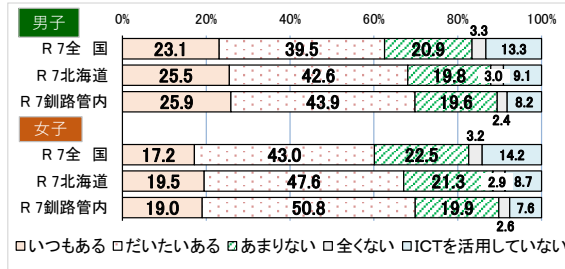
【児童質問調査】

・体育の授業で、目標を意識した学習で「できたり、わかったり」することがあります



【児童質問調査】

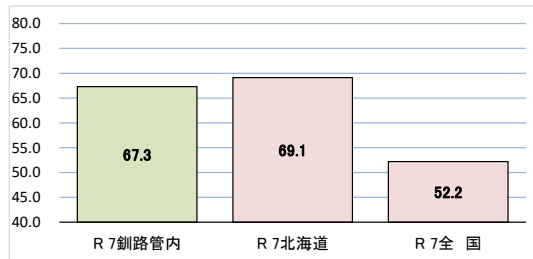
・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあります



【学校質問調査】

小学校

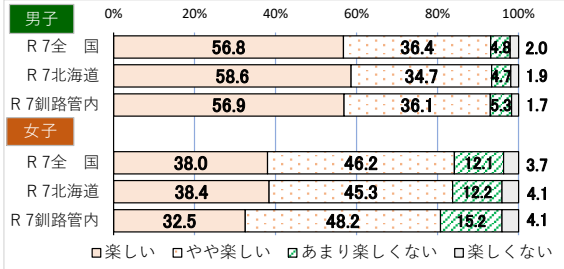
・その授業の目標を児童に示す活動をいつも取り入れている



中学校

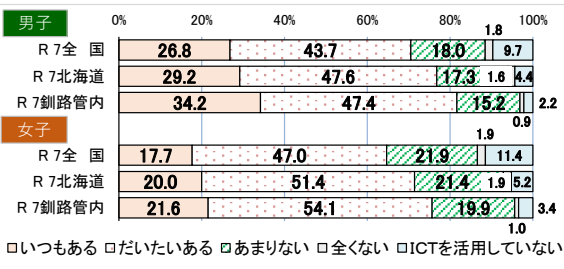
【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



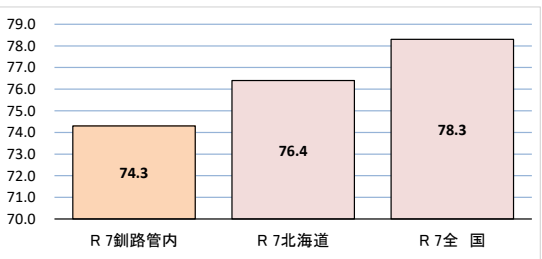
【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあります



中学校

・運動やスポーツが苦手な生徒がいる場合、その生徒に合った場やルール等で行えるようにしている



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・体育授業においてICTの効果的・積極的な活用による個に応じた指導の充実を図ったことにより、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答した児童が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国と比較して、日常的に授業の目標を示しているものの、目標が児童の実態を十分に踏まえていないため、体育の授業で、目標を意識して学習することで「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している女子児童の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・保健体育授業においてICTの効果的・積極的な活用による個に応じた指導の充実を図ったことにより、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答した生徒が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国、全道と比較して、運動やスポーツが苦手な生徒に合った場やルール等で行えるようにすることなど、生徒が運動能力に応じて選択したり、工夫したりすることができるような教材・教具の工夫に課題が見られるため、「体育の授業は楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を下回ったと考えられる。

■ 釧路管内の体力向上に向けた改善方策

- ・体育エキスパート教員の重点校訪問や中学校授業実践改善セミナーを通じた、発達段階や運動の特性を踏まえた指導内容の明確化・重点化による体育・保健体育授業の改善・充実
- ・小学校における目標を意識した学習で「できたり、わかったり」する割合の向上に向けた、授業づくりに係る体育専科教員・体育エキスパート教員による資料の作成及び普及啓発
- ・釧路管内体育授業改善研修会を通じた、運動が苦手な子における授業への楽しさの向上に向けた、運動の特性や生徒の興味・関心を踏まえた教材研究及び指導方法の改善に係る取組の推進

根室管内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策

学校・児童生徒数：小学校23校・児童数457名、中学校19校・生徒数502名

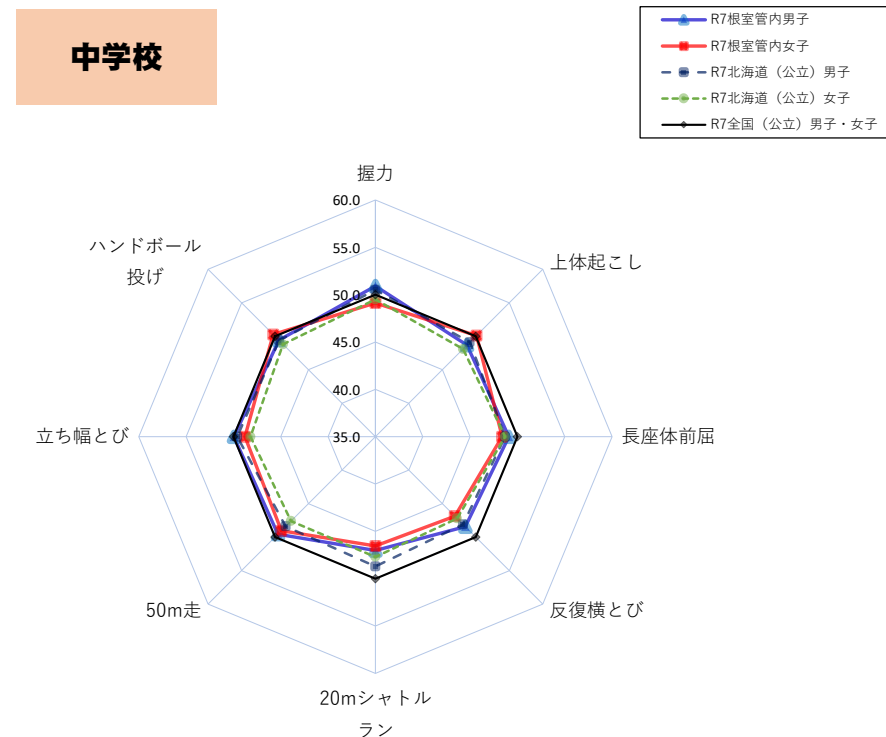
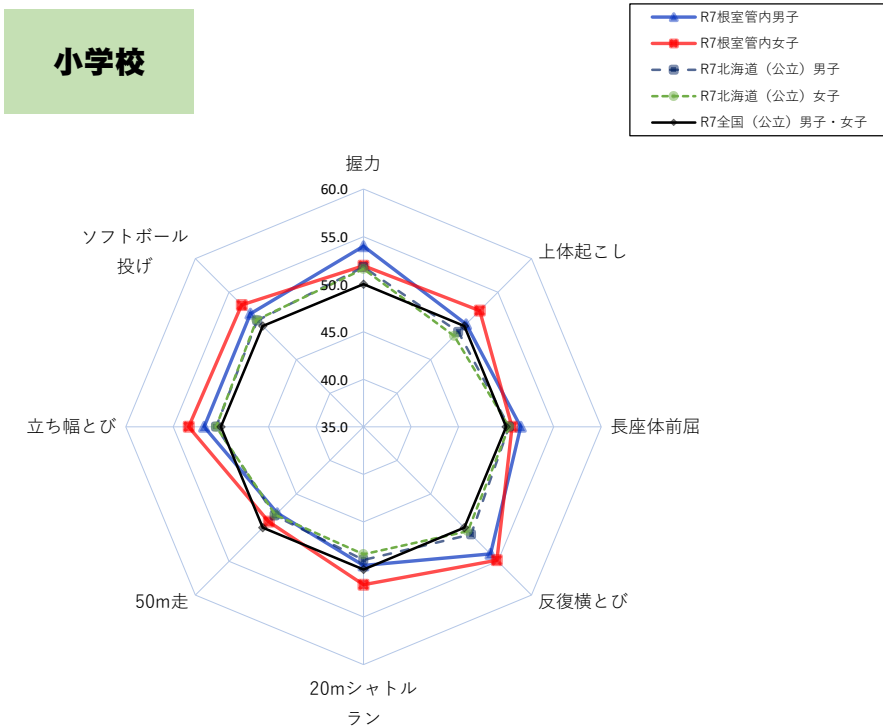
○ 実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7根室管内男子	17.52	19.62	35.25	44.20	47.04	9.70	155.34	22.58	54.70
R7根室管内女子	16.36	19.65	38.72	42.37	39.41	9.86	150.56	14.59	56.66
R7北海道(公立)男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道(公立)女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国(公立)男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国(公立)女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7根室管内男子	29.62	25.26	44.08	50.18	71.21	8.04	197.36	20.38	40.85
R7根室管内女子	22.73	21.76	45.22	43.28	43.80	9.06	162.97	12.54	44.53
R7北海道(公立)男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道(公立)女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国(公立)男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国(公立)女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.60	8.97	166.44	12.43	47.58

・レーダーチャート：各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び管内の状況

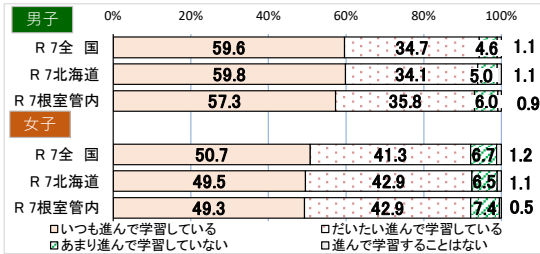


○ 質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況

小学校

【児童質問調査】

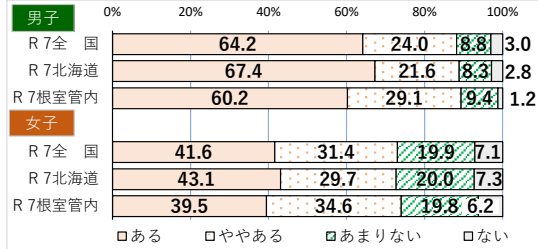
・体育の授業では、進んで学習に参加していますか。



中学校

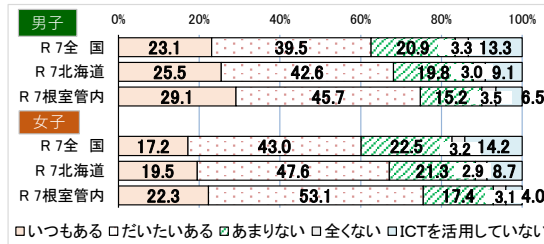
【生徒質問調査】

・運動やスポーツをすることに興味や関心がありますか。



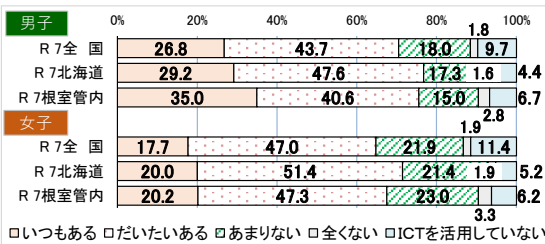
【児童質問調査】

・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



【生徒質問調査】

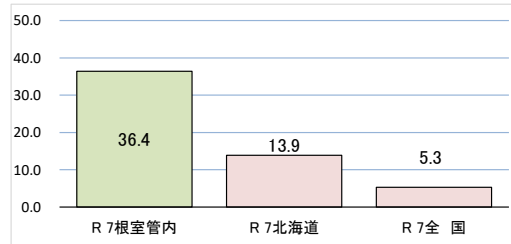
・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあります。



【学校質問調査】

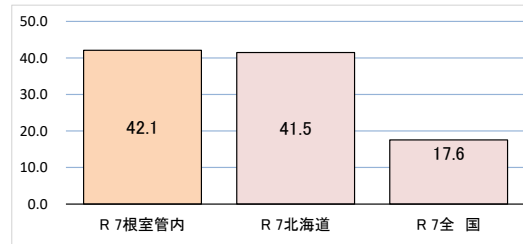
小学校

・体育授業において毎時間ICTを活用している。



中学校

・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



■ 調査結果の分析

小学校

【成果】

・小学校においては、体育授業において継続的にICTを活用し、技能や知識の定着につなげるための指導の工夫を行ったことにより、体力合計点が昨年度よりも上昇するとともに、体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している児童の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度が高く、技能や知識の定着につながっているものの、運動のポイントや行い方について友だちと伝え合う活動を設定するなど体育授業に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られることから、「体育の授業では、進んで学習に参加している」と肯定的に回答している児童の割合が、全道を下回ったと考えられる。

中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において継続的にICTを活用し、技能や知識の定着につなげるための指導の工夫を行ったことにより、体力合計点が全国及び全道を上回るとともに、「運動やスポーツをすることに興味や関心がある」と肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度は高いもののICTの活用が技能や知識の定着に十分につながっていないため、保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している生徒の割合が、全道を下回ったと考えられる。

■ 根室管内の体力向上に向けた改善方策

- ・根室管内教育推進の重点に係る評価結果を踏まえた改善方策の策定
- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料作成及び普及
- ・児童生徒が自ら課題を設定し、主体的に課題を解決する活動や時間の確保及び児童生徒の学習状況を把握して指導に生かす授業改革の推進及び局独自研修の実施
- ・児童生徒一人一人が課題発見や課題解決に活用するなど、目的に応じたICT活用に係る取組状況の把握及び指導助言
- ・各市町教育委員会との連携による望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組状況の把握及び指導助言